



ランナー調査研究レポート

【調査研究の結果概要】

- ◇調査に回答したランナーの完走タイム（自己ベスト）は、3時間未満が4.7%、3時間以上4時間未満が44.0%、4時間以上5時間未満が37.0%、5時間以上あるいは完走経験なしが14.4%と分布している。
- ◇大会満足度では、「スタッフ・ボランティアの対応」「ランナーへの応援・励まし・エール」について、95%以上のランナーが満足したと回答したほか、大会ホームページやSNS、啓発グッズの配布による「情報発信の頻度」、「参加案内パンフレット」や「大会プログラム」のわかりやすさなどで高い評価となっている。
- ◇総合的な評価では、100点満点中、平均点が87.2点となった（2017大会：87.0点、2016大会：88.6点、2015大会：86.7点、2014大会：84.4点）。ランナーの89.2%が次回大会にも参加したいと回答している。
- ◇京都マラソンについての口コミ情報入手ルートは、男女ともに「ランニングサイトの個人による投稿」が最も多く、男性は61.6%、女性は53.7%であった。京都マラソンに出場することを決めるにあたっての口コミ情報の影響力の大きさは、全体では52.1%で、どの世代においても男性より女性の方が影響を大きく受けており、とくに60歳以上の女性が70.1%と最も高かった。

京都マラソン実行委員会事務局
(京都市文化市民局市民スポーツ振興室)

調査研究：京都マラソン2018 マネジメント・リサーチ・チーム
同志社大学スポーツ健康科学部二宮研究室
龍谷大学経営学部松永研究室
立命館大学スポーツ健康科学部長積研究室

目次

- I. 京都マラソン 2018 の概要
- II. 京都マラソン 2018 の総括
- III. 調査研究の概要
- IV. 調査研究の分析
 1. 個人属性
 - 1-1)性別と年代 1-2)職業 1-3)世帯所得 1-4)最終学歴
 2. ランニング活動
 - 2-1)フルマラソン完走タイム 2-2)フルマラソン完走回数 2-3)京都マラソンの参加経験
 3. 大会満足度・評価
 - 3-1)大会満足度 1 (大会全体) 3-2)大会満足度 2 (スタート) 3-3)大会満足度 3 (コース)
 - 3-4)大会満足度 4 (フィニッシュ) 3-5)スタート会場の衣類回収 3-6)ランナー受付時の簡易ポンチョの配布 3-7)おつかれさま広場の利用 3-8)飲食屋台 3-9)参加賞の希望 3-10)よかったと思う給食メニュー 3-11)マイカップ・マイボトル専用給水所の活用 3-12)マイカップ・マイボトルの取組主旨への賛同 3-13)ファーストエイドサポーター 3-14)ファーストエイドサポーター参加意思 3-15)オフィシャルグッズ 3-16) 総合的満足度 3-17) 京都マラソン 2019 への参加意欲
 4. 大会参加
 - 4-1)京都マラソン会場までの交通手段 4-2)自宅から会場までの所要時間 4-3)宿泊の有無
 - 4-4)宿泊した場所 4-5)同伴者数及び傾向 4-6-1)性別による情報入手ルート 4-6-2)年代別の情報入手ルート 4-7-1)性別による参加理由 4-7-2) 年代別の参加理由 4-8-1) 性別による口コミの情報入手ルート 4-8-2) 口コミ情報の影響力の大きさ (100 点満点) 4-9) 過去の京都マラソンのボランティア経験
 5. 京都のイメージ
 6. 自由記述意見について

I. 京都マラソン 2018 の概要

第7回大会となる京都マラソン 2018 は、ランナー募集が前年比で 5,710 名増え抽選倍率が 4.2 倍になるなど、引き続きランナーの皆さまから高い人気をいただいた。

コースは、大きな変更はなかったが、約 35km 地点となる京都市役所前広場が市役所の改修工事により使用できないため、同広場を通過していたコースの一部を修正した。これに伴い、当該ポイントでの給食をスペースの関係で中止している（給水は引き続き実施）。また、沿道盛り上げ隊による盛り上げも実施できないことから、新たに河川敷に盛り上げポイントを移動した。

コース変更などハード面の変更が少なかったことからランナーサービスを中心とするソフト面の改善及び新たな取組を幾つか導入した。

まず、回収した使用済み小型家電から抽出した金を 100%使用した「リサイクル金メダル」を東京五輪に先駆けて制作し、各優勝者（男子、女子、車いす）に贈呈した。次に、低体温症の予防を目的とする簡易ポンチョの配布や特にコース前半での仮設トイレの設置台数を増やす（計 58 基増）など、ランナー目線での改善も併せて行った。

海外からは、45 の国及び地域から 2,102 人が参加した。

完走者は、16,229 人中 15,343 人となり、完走率は 94.5%であった。

以下の表において項目ごとに記述する。

		前回 (2017)
日 時	平成 30 年 2 月 18 日 (日) ※ 2 月第 3 日曜日 8:55 車いす競技 スタート 9:00 マラソン・ペア駅伝 スタート 15:00 マラソン・ペア駅伝 終了	※同左 (2月19日(日))
天 気	9 時 (スタート会場) 晴れ、6.7°C、湿度 43% 15 時 (フィニッシュ会場) 晴れ、7.3°C、湿度 28%	晴れ、11.0°C、55% 晴れ、13.0°C、44%
出走者	マラソン 15,832 人 ペア駅伝 388 人 車いす競技 9 人 計 16,229 人 (完走者 15,343 人、完走率 94.5%)	17,252 人 (16,083 人 93.2%)
競技コース	1 マラソン・ペア駅伝 西京極総合運動公園～平安神宮前 (42.195 km) (日本陸上競技連盟、国際陸上競技連盟及び国際マラソン・ロードレース協会公認) 2 車いす競技 西京極総合運動公園～嵐山 (6.1 km)	同左
スタッフ数	約 14,600 人	約 14,900 人
応援人数	約 528,000 人	約 519,000 人
おこしやす広場 入場者数	約 26,200 人	約 29,900 人

II. 京都マラソン 2018 の総括 (◎は新規、○は拡充)

(1) 競技運営

・より安心・安全かつ円滑な競技運営に向けて、各種対策を充実強化。その結果、大きな事故や重い救護案件もなく大会を終えることができた。

取組	概要・実施結果
ア コース	<ul style="list-style-type: none"> ◎京都市役所新庁舎整備事業に伴い走路を変更 御池通の走路を寺町通までに変更 ◎美術館建替工事に伴いフィニッシュ会場のレイアウトを見直し 東側待ち合わせ広場を市美術館西側から岡崎公園野球場西側に移設
イ 走路対策	<ul style="list-style-type: none"> ・積雪・凍結時に備え、除雪車等を配備（結果、不使用）
ウ ランナー対策	<ul style="list-style-type: none"> ◎給水所で「京の水道 疏水物語」を使用 ◎雨天・防寒対策として、ランナー受付会場で簡易ポンチョを配布 →大会前々日及び前日に 17,000 枚配布 ○トイレの増設 (1,103 箇所→1,155 箇所) ・ランナーの不要な防寒衣類をスタート後に回収、リユース・リサイクル →2,180kg 回収
エ 医療救護対策	<ul style="list-style-type: none"> ・医師会等、医療関係者の協力のもと、救護所・救護車、コース沿道の救護サポーターなどの体制を構築（AED124 台を配備） ・心肺蘇生や AED 使用に関する「ファーストエイド講習」を実施 →82 人参加 ◎ファーストエイド・サポーターを創設 ファーストエイド講習受講者及び救命講習を受けたランナー・ボランティアを募集 →122 人登録（うちファーストエイド講習受講者 82 人） ・緊急時の応急救護の拠点となる「高度救急救護車」を配備 ・救護 374 件（前回 392 件）、救急搬送 5 件（前回 8 件）※AED 不使用
オ 警備対策	<ul style="list-style-type: none"> ・京都府警察と連携した会場等巡回、応援者手荷物検査等を実施 ◎スタート会場において、テロ対策を想定した関係機関（警察・消防・右京区役所等）との合同訓練を実施（平成 29 年 12 月 15 日） ◎フィニッシュ会場において、テロ対策として車両進入を防ぐための警察車両を 4 箇所配置
カ ボランティア	<ul style="list-style-type: none"> ◎ボランティアの拡大と育成のため、個人ボランティアリーダーを試行配置。 →35 人参加

(2) 交通総量抑制対策等

大会当日を「ノーマイカーデー」に設定し、様々な媒体を通して市民や事業者、観光客等への広報・周知を行い、緊急自動車・公共交通機関の円滑な運行の確保に努めた。その結果、大会に起因する大規模な交通渋滞は発生しなかった。

取組	概要・実施結果
ア 交通総量抑制対策	<ul style="list-style-type: none"> ・市民しんぶん、チラシ・ポスター、啓発グッズ、歩道橋横断幕、市バス・地下鉄広告など多様な媒体を活用した周知 →市民・事業者・観光客等の御協力の結果、大会に起因する大規模な交通渋滞は発生せず ・広域迂回・直近誘導対策等を実施
イ 公共交通対策	<ul style="list-style-type: none"> ・市バス無料乗車券の配布、路線バス利用促進を広報 →14,231枚の利用（前回15,393枚） ・無料シャトルタクシーの運行 →8路線で実施、1,221人が利用（前回1,205人）
ウ 緊急車両対策	<ul style="list-style-type: none"> ・警察・消防局等と連携し、ランナーストップ対策及び広域迂回・直近誘導対策等を実施 →ランナーストップなし ○緊急車両通行時の連絡体制を強化 消防指令センターと警察本部の専用回線増設及び人員増強

(3) 沿道住民合意形成

コース沿道等の住民・事業者に対し、チラシ等を各戸配布し、きめ細やかに情報提供を行うとともに、「固定式島方式」の設置等によるコース横断対策や速やかな交通規制解除のための時間制限関門を設置した。

取組	概要・実施結果
ア 説明・周知	<ul style="list-style-type: none"> ・沿道住民・事業者（125,000世帯）へ交通規制マップ等を配布 ・市民しんぶんへの挟み込みや各施設等へチラシを配布
イ 通行・コース横断	<ul style="list-style-type: none"> ・ランナーの走行を妨げない「固定式島方式」を設置（13箇所） →18,977人が横断（前回比約14%減） ・ランナーの切れ目での横断誘導を実施
ウ 交通規制開始・解除	<ul style="list-style-type: none"> ・速やかな交通規制解除のための時間制限関門を設置（8箇所） ・大会ホームページを通じ規制解除情報を逐次発表

(4) メインコンセプトの具現化、ランナーサービスなど

大会のメインコンセプトの具現化に努めた。また、地域各団体・市民の御協力の下、京都ならではの温かいおもてなしや応援等により、大会を盛り上げた。

取組	概要・実施結果
ア メインコンセプトの具現化	
(ア)「DO YOU KYOTO?マラソン」	<ul style="list-style-type: none"> ・大会当日を「ノーマイカードー」に設定 ・燃料電池自動車を大会車両の一部に導入 ・リユースごみ箱（541 個）の活用 ・給水・給食の残物品をフードバンクへ提供 ◎優勝者にリサイクル金メダルを贈呈 東京五輪に先駆け、使用済小型家電から抽出した金を使用 ◎ボランティア・スタッフウェアを回収し、クリーニングのうえ、次回大会で再利用 ◎看板等使用資材の再利用 ◎マイカップ配布、マイカップ・マイボトル給水所の設置により、紙コップの削減を促進 →マイカップ 500 個を配布
(イ)東日本大震災復興支援	<ul style="list-style-type: none"> ・「復興支援枠」の設定 →234 人が応募 ・東日本大震災被災地への義援金を募集 →7,871,594 円 ・復興支援メッセージをランナーゼッケンに印字 ・震災復興写真展や物産・飲食屋台を出展 ◎東北開催 3 大会※からのランナー受入 ※仙台国際ハーフ、会津若松市鶴ヶ城ハーフ、(2019 大会から) 一関国際ハーフ
イ ランナーサービス	
(ア)エントリー（申込み）等	<ul style="list-style-type: none"> ○ペア駅伝市民枠（50 組 100 人）の応募条件を「同区民同士」から「京都市民同士」に緩和 →201 組 402 人が応募（前回 115 組 230 人） ○ふるさと納税枠を 100 人増枠（500 人→600 人） →前回に引き続き、定員充足 ◎サブ 3.5・サブ 4 応援枠（定員 500 人）の申込方法を郵送に加え、ウェブ申込みにも対応 →前回の倍増となる 5,003 人が応募
(イ)多言語対応	<ul style="list-style-type: none"> ・主要な案内看板を日本語・英語・繁体字・簡体字で表記 ・西京極陸上競技場フルカラーLED スコアボードを活用した多言語案内及び手話通訳を表示
(ウ)フィニッシュ後	<ul style="list-style-type: none"> ・フィニッシュ会場で足湯・マッサージ・みそ汁を提供 ・完走証を当日交付、「完走者新聞」（有料）、「お風呂屋さんマップ」を配布

	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツドリンクの配布及び給水所(京の水道疏水物語)の設置 ○給食としてカロリーメイトのほか、新たに雪の宿を提供 ・京都市役所前駅止まりの東西線・京阪乗り入れの車両を太秦天神川駅まで運行し、東山駅から京都駅等への利便性を向上
(エ)京都ならではの おもてなし	<ul style="list-style-type: none"> ・ペア駅伝のタスキ、フィニッシュテープを西陣織で製作 ・コース周辺の観光名所案内サインを設置 ・給食に生八ツ橋を提供 ・フィニッシュ後に舞妓さんと写真撮影(有料) ◎上位入賞者(1位～3位)のメダルのリボンに京くみひもを使用 ◎女性ランナーに「にほひ袋」を贈呈(鳩居堂提供)
ウ 応援、大会の盛り上げ	
(ア)市民ぐるみの盛り上げ	<ul style="list-style-type: none"> ・市民しんぶん(1/15区版)で各区のランナーを紹介・応援 ・沿道盛り上げ隊(14箇所46団体)、市内22商店街による沿道応援 ・車いす競技フィニッシュ会場における東嵐会によるおもてなし ◎公式インスタグラムを開設。完走メダルデザイン投票にも活用 ◎京都市情報ポータルアプリ「Hello KYOTO」とのコラボキャンペーンを実施(登録者に抽選でオリジナル手ぬぐいを贈呈) →594人が応募 ・京都産業大学学生による「沿道応援スタンプラリー」を実施 →5,909人が参加 ・フィニッシュ会場に地元店による応援者向け飲食ブースを設置
(イ)おこしやす広場	<ul style="list-style-type: none"> ・地元店等による飲食ブース、裏千家によるお茶席など京都ならではのおもてなしを実施 ・「伝統産業ふれあい館」職人による実演・体験を実施 ・オフィシャルグッズとして「鳩居堂」「SOU・SOU」とのコラボ商品(付箋、Tシャツ)を制作
(ウ)応援大使	<ul style="list-style-type: none"> ・京都大学iPS細胞研究所の山中所長など全14人を任命、5人がフルマラソン・ペア駅伝に出走 ・山中所長がリオデジャネイロパラリンピック銀メダリストの道下美里選手と初のペア駅伝に出走

III. 調査研究の概要

1. 調査目的

本調査は、(京都マラソン2018)参加ランナーを対象として、ランニング活動、イベント満足度・評価、マラソン参加、ランニング関与、個人属性などについて調査することにより、今後の大会運営の改善を図るとともに、スポーツ参加者の行動様式を明らかにすることを目的としている。

2. 調査内容

1)個人属性

1-1)性別と年代 1-2)職業 1-3)世帯所得 1-4)最終学歴

2)ランニング活動

2-1)フルマラソン完走タイム 2-2)フルマラソン完走回数 2-3)京都マラソンの参加経験

3)大会満足度・評価

3-1)大会満足度1(大会全体) 3-2)大会満足度2(スタート) 3-3)大会満足度3(コース) 3-4)大会満足度4(フィニッシュ)

3-5)スタート会場の衣類回収

3-6)ランナー受付時の簡易ポンチョの配布 3-7)おつかれさま広場の利用 3-8)飲食屋台 3-9)参加賞の希望 3-10)よかったと思う給食メニュー

3-11)マイカップ・マイボトル専用給水所の活用 3-12)マイカップ・マイボトルの取組主旨への賛同 3-13)ファーストエイドサポーター

3-14)ファーストエイドサポーター参加意思 3-15)オフィシャルグッズ 3-16)総合的満足度 3-17)京都マラソン2019への参加意欲

4)大会参加

3. 調査対象

京都マラソン2018の参加ランナー

4. 調査期間

平成30年2月19日～3月12日

5. 調査方法

インターネット調査：京都マラソン2018公式サイトや参加案内パンフレットで告知するとともに、参加ランナーへのメール連絡において調査実施の案内を行った。承諾したランナーがリンク先の「京都マラソン2018ランナー調査」ウェブサイトにて回答を行った。

6. 回収結果

調査対象者：マラソン及びペア駅伝の出走者（日本人）14,118人

有効標本数：2,902票（回収率：20.6%）

7. 調査研究の分析枠組み

本調査研究は、ランナー全体、性別、年代別によって類型化した京都マラソン参加者の行動様式を明らかにすることを目的としており、その研究成果を大会運営のための基礎資料として役立てることを目指している。

本調査研究の分析枠組みでは、ランナー全体の行動様式を分析するために単純集計を行うとともに、イベント満足度・評価などの項目においてクロス集計を行うために独立変数（説明変数）として性別、年代別と居住地別（京都市内・市外）を設定した。従属変数（被説明変数）には、行動様式として、ランニング活動、イベント満足度・評価、マラソン参加、京都に関する意識を取り上げた。（「IV. 調査研究の分析」におけるパーセントは四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。）

IV. 調査研究の分析

1. 個人属性

京都マラソン2018ランナーの個人属性を見ていくと、性別では、男女比が3：1、年代は、男女ともに40歳代が最も多く、次いで50歳代、30歳代となっており、40歳代と50歳代のランナーが全体の7割を占めている。

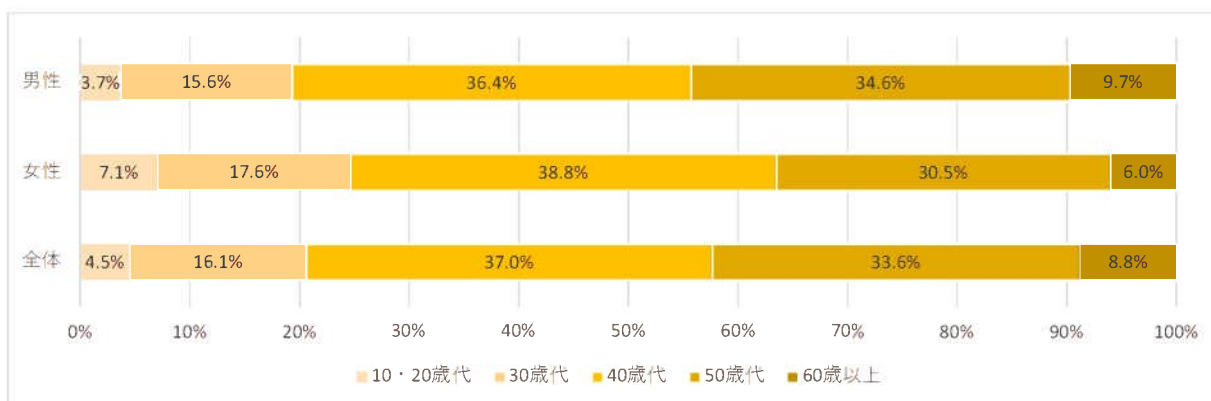
職業では、会社員・公務員が75.9%で最も多かった。世帯所得では、回答者の約5人に1人が1,000万円以上で、1,000万円以上2,000万円未満という回答が最も多い。最終学歴では、大学・大学院卒業または在学中が最も多く、回答者の約65.5%であった。

1-1) 性別と年代

図表1. 性別と年代

N=2,902、n=2,709

		10・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	合計	
性別	男性	度数	76	319	744	707	198	2,044
		パーセント	3.7%	15.6%	36.4%	34.6%	9.7%	100.0%
	女性	度数	47	117	258	203	40	665
		パーセント	7.1%	17.6%	38.8%	30.5%	6.0%	100.0%
全体	度数	123	436	1,002	910	238	2,709	
	パーセント	4.5%	16.1%	37.0%	33.6%	8.8%	100.0%	

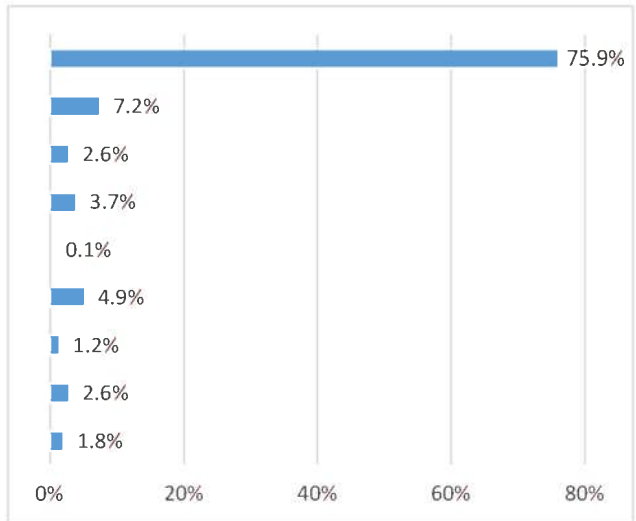


1-2) 職業

図表2. 職業

N=2,902、n=2,699

	度数	パーセント
会社員・公務員	2,049	75.9%
自営業	193	7.2%
主婦	70	2.6%
会社役員	101	3.7%
農林漁業	3	0.1%
パート・アルバイト	132	4.9%
学生	33	1.2%
無職	69	2.6%
その他	49	1.8%
合計	2,699	100.0%

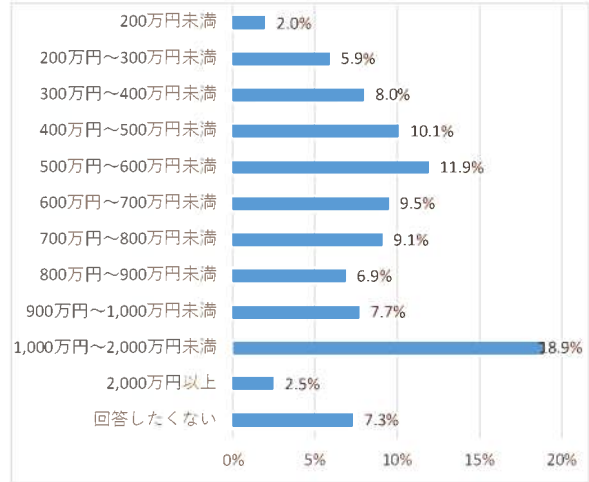


1-3) 世帯所得

図表3. 世帯所得

N=2,902、n=2,697

	度数	パーセント
200万円未満	55	2.0%
200万円～300万円未満	159	5.9%
300万円～400万円未満	217	8.0%
400万円～500万円未満	273	10.1%
500万円～600万円未満	321	11.9%
600万円～700万円未満	256	9.5%
700万円～800万円未満	246	9.1%
800万円～900万円未満	187	6.9%
900万円～1,000万円未満	209	7.7%
1,000万円～2,000万円未満	510	18.9%
2,000万円以上	67	2.5%
回答したくない	197	7.3%
合計	2,697	100.0%

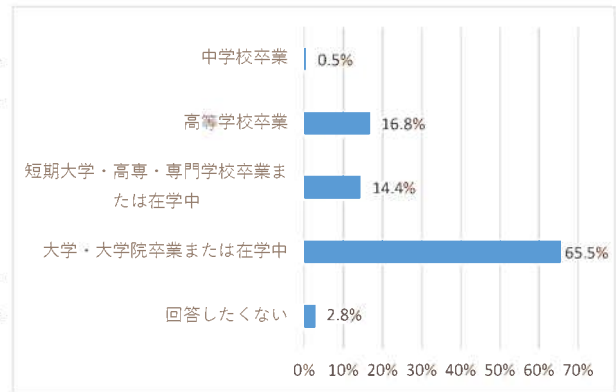


1-4) 最終学歴

図表4. 最終学歴

N=2,902、n=2,698

	度数	パーセント
中学校卒業	14	0.5%
高等学校卒業	452	16.8%
短期大学・高専・専門学校卒業または在学中	389	14.4%
大学・大学院卒業または在学中	1,768	65.5%
回答したくない	75	2.8%
合計	2,698	100.0%



2. ランニング活動

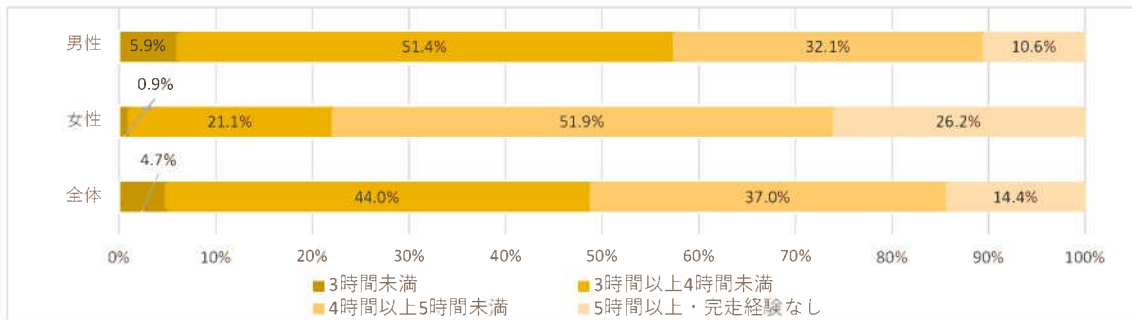
京都マラソン2018ランナーのランニング活動についてみていく。フルマラソン完走タイムでは、サブ4・サブ5のランナーが全体の約8割を占めた。フルマラソンの完走回数では、10回以上完走したことのあるランナーがは全体の39.1%であった。京都マラソンに参加経験があるランナーは回答者全体の約半数を占め、リピーター参加者が多いと考えられる。2017大会に参加経験のあるランナーの51.8%が2018大会に参加した。

2-1) フルマラソン完走タイム<自己ベスト> (京都マラソン2018の記録を含む)

図表5. フルマラソン完走タイム

N=2,902、n=2,709

		3時間未満	3時間以上4時間未満	4時間以上5時間未満	5時間以上・完走経験なし	合計	
性別	男性	度数	120	1051	657	216	2,044
		パーセント	5.9%	51.4%	32.1%	10.6%	100.0%
	女性	度数	6	140	345	174	665
		パーセント	0.9%	21.1%	51.9%	26.2%	100.0%
全体		度数	126	1,191	1,002	390	2,709
		パーセント	4.7%	44.0%	37.0%	14.4%	100.0%

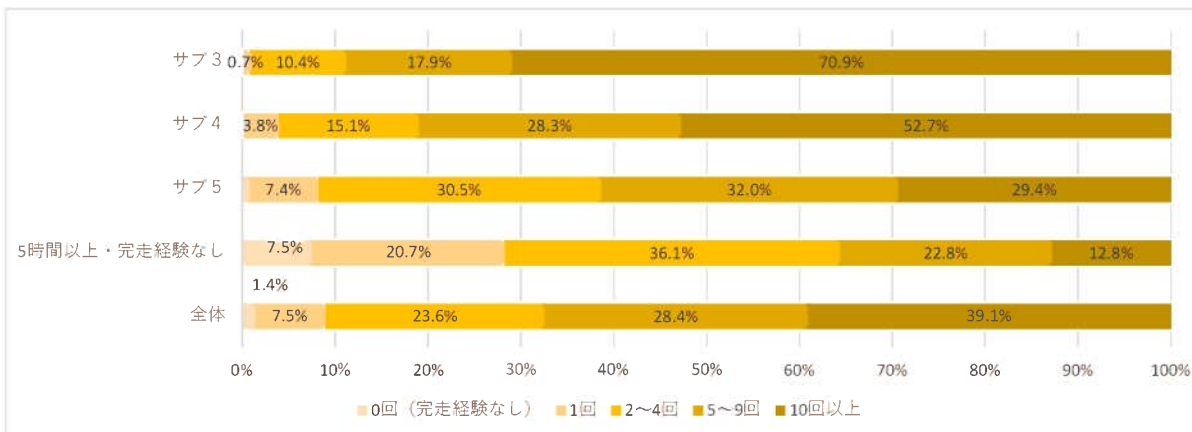


2-2) フルマラソン完走回数

図表6. フルマラソン完走回数

N=2,902、n=2,897

		0回 (完走経験なし)	1回	2~4回	5~9回	10回以上	合計	
ランナー タイプ	サブ3	度数	0	1	14	24	95	134
		パーセント	0.0%	0.7%	10.4%	17.9%	70.9%	100.0%
	サブ4	度数	1	48	193	361	672	1,275
		パーセント	0.1%	3.8%	15.1%	28.3%	52.7%	100.0%
	サブ5	度数	8	78	323	339	311	1,059
		パーセント	0.8%	7.4%	30.5%	32.0%	29.4%	100.0%
	5時間以上・完走経験なし	度数	32	89	155	98	55	429
		パーセント	7.5%	20.7%	36.1%	22.8%	12.8%	100.0%
	全体	度数	41	216	685	822	1,133	2,897
		パーセント	1.4%	7.5%	23.6%	28.4%	39.1%	100.0%

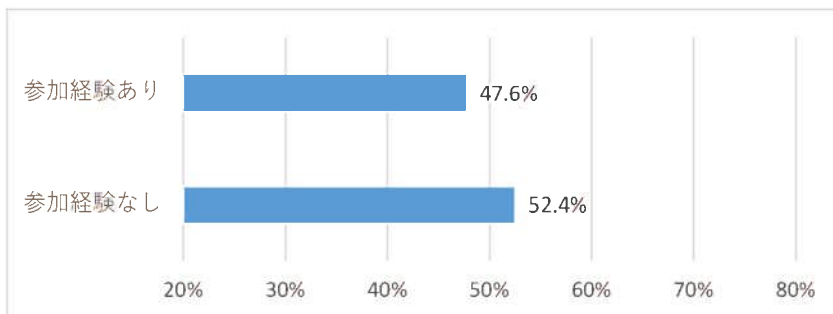


2-3) 京都マラソンの参加経験

図表7-1. 京都マラソンの参加経験の有無

N=2,902、n=2,902

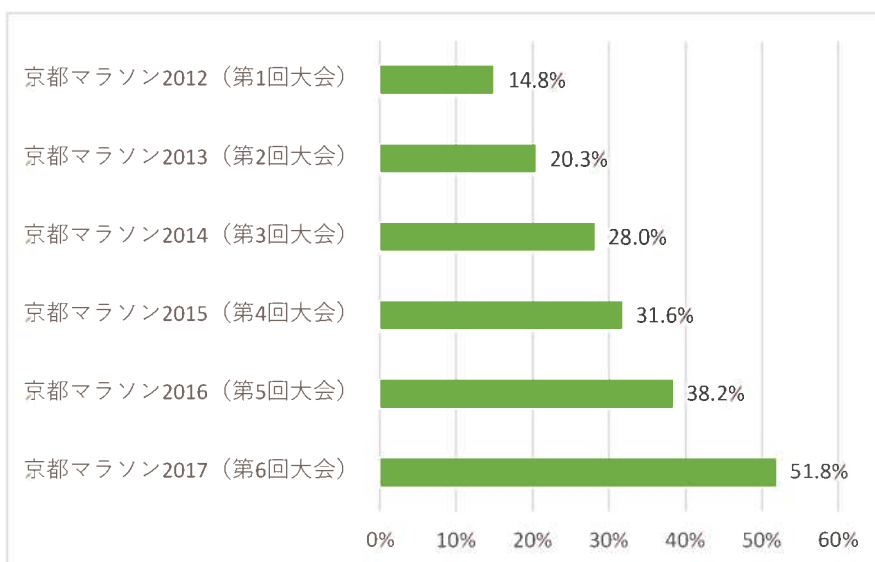
	度数	パーセント
参加経験あり	1,381	47.6%
参加経験なし	1,521	52.4%



図表7-2. 京都マラソンの経験者の参加状況（複数回答）

N=2,902、n=1,381

	応答数	パーセント
京都マラソン2012（第1回大会）	204	14.8%
京都マラソン2013（第2回大会）	281	20.3%
京都マラソン2014（第3回大会）	386	28.0%
京都マラソン2015（第4回大会）	436	31.6%
京都マラソン2016（第5回大会）	527	38.2%
京都マラソン2017（第6回大会）	715	51.8%



3. 大会満足度・評価

大会の満足度と評価について見ていく。高い評価となったのは、「スタッフ・ボランティアの対応」「ランナーへの応援・励まし・エール」、大会ホームページやSNS、啓発グッズの配布による「情報発信の頻度」、「参加案内パンフレット」や「大会プログラム」のわかりやすさ、である。その一方で、「大会参加料」「コース全体の走りやすさ」では、ともに4人に1人が不満足と回答している。また、宿泊施設を利用したランナーは、「宿泊施設の予約」および「宿泊施設の価格」ともに満足と回答してるランナーは全体の約3割しかない。スタートの満足度では、「スタートブロックでの防寒着の着用」が高い評価となる一方、「トイレの数」及び「スタートセレモニー」の平均得点が低かった。コースの満足度では、「給水」「沿道の応援」「沿道盛り上げ隊」の平均得点が高くなっているのに対し、「コース設定」のうち、コース幅、折り返し、河川数で不満足と回答するランナーがそれぞれ約4割であった。スタート会場、フィニッシュの満足度では、全項目において満足の回答が半数を超え、とくに「当日完走証」や「フィニッシャータオル」「完走メダル」などで9割以上のランナーが満足したと回答している。

スタート会場の衣類回収では、利用したランナーは4割以上であったが、次回利用したいと回答したランナーは7割を超えている。ランナー受付時に簡易ポンチョ配布について、知っていたランナーは約9割で、知っていたが利用しなかったランナーはわずかであった。

おつかれさま広場を利用したランナーは約半数で、西側待ち合わせ広場の飲食屋台を利用したのは2割弱であった。参加賞の希望については、BUFFの希望が半数近くある一方で、Tシャツの希望も4割程度あり、その他では靴下や帽子、手袋などの回答があった。よかったと思う給食メニューでは、酢こんぶが最も人気があり、次いでみかん、いちごも人気が高かった。

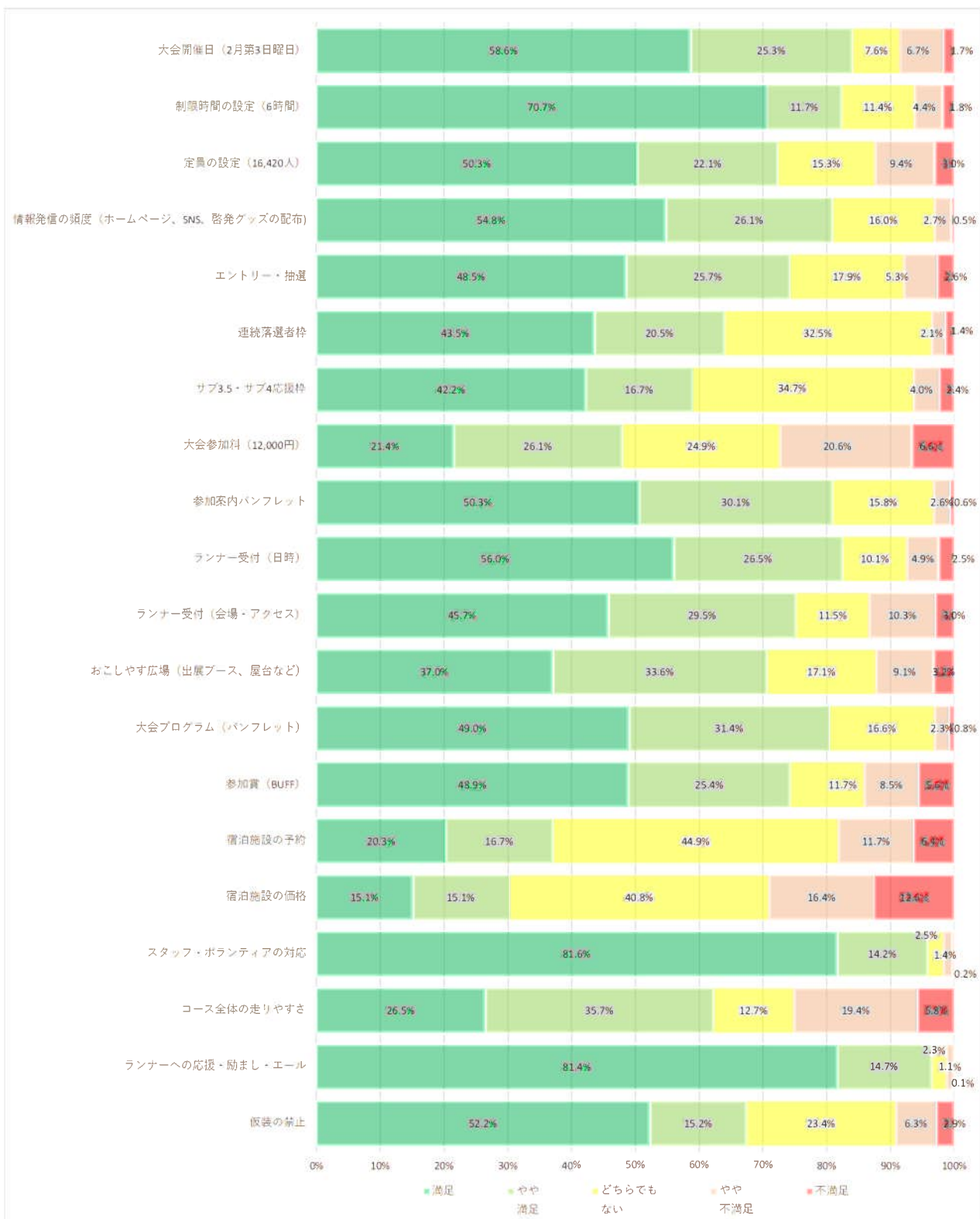
マイカップ・マイボトルの取組については、マイカップ・マイボトル専用給水所を活用したランナーは12.9%で、取組について知らなかったランナーが約半数であった。ファーストエイドサポーター募集を知っていたランナーは56.2%で、参加意思があるランナーは48.5%であった。

京都マラソンの総合的な評価では100点満点中87.2点が平均点となった（2017大会：87.0点、2016大会：88.6点、2015大会：86.7点）。回答したランナーの89.2%が次大会にも参加したいと回答している。

図表8. 大会満足度1

N=2,902、n=2,902

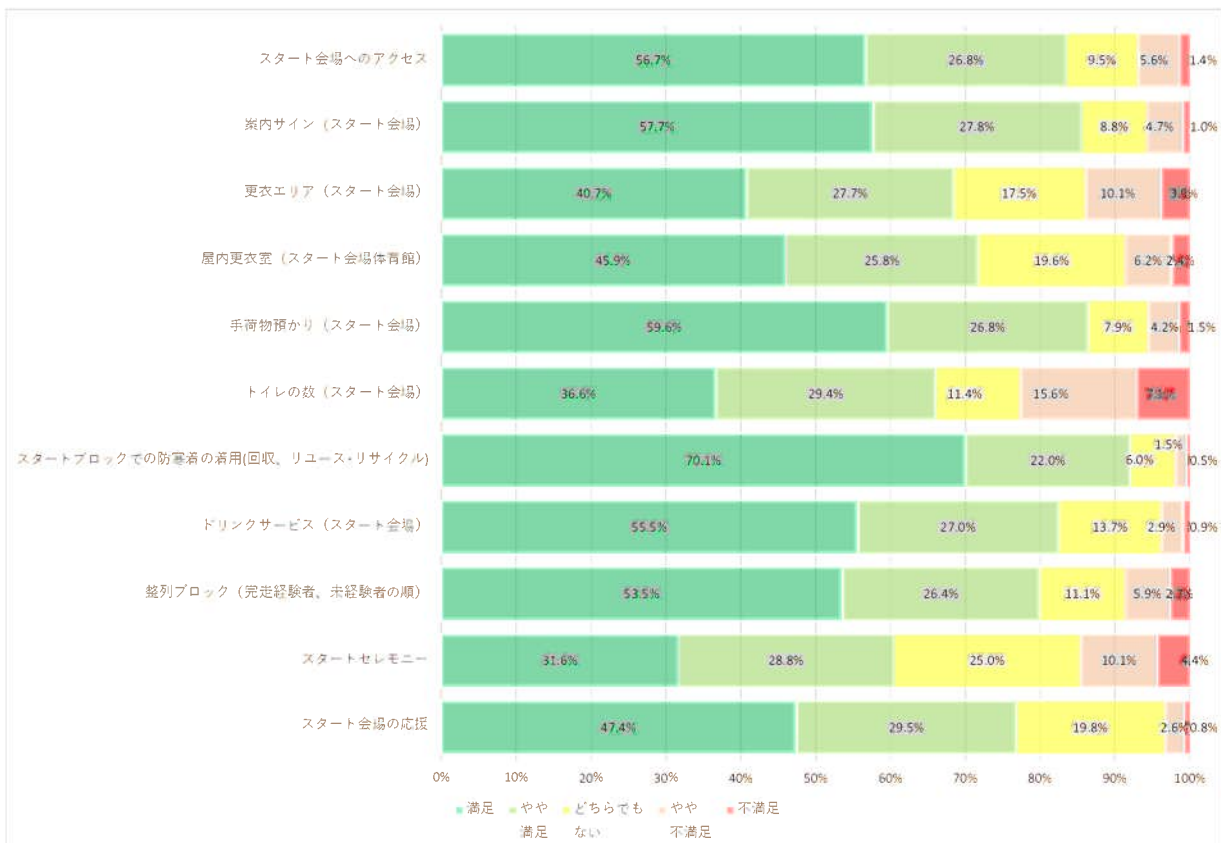
		満足	やや満足	どちらでもない	やや不満足	不満足	合計	平均得点 (5点満点)
大会開催日 (2月第3日曜日)	度数	1,699	734	219	195	50	2,897	4.32
	パーセント	58.6%	25.3%	7.6%	6.7%	1.7%	100.0%	
制限時間の設定 (6時間)	度数	2,006	331	324	126	52	2,839	4.45
	パーセント	70.7%	11.7%	11.4%	4.4%	1.8%	100.0%	
定員の設定 (16,420人)	度数	1,443	633	438	269	87	2,870	4.07
	パーセント	50.3%	22.1%	15.3%	9.4%	3.0%	100.0%	
情報発信の頻度 (ホームページ、SNS、啓発グッズの配布)	度数	1,558	743	454	77	13	2,845	4.32
	パーセント	54.8%	26.1%	16.0%	2.7%	0.5%	100.0%	
エントリー・抽選	度数	1,393	739	514	151	76	2,873	4.12
	パーセント	48.5%	25.7%	17.9%	5.3%	2.6%	100.0%	
連続落選者枠	度数	930	438	694	45	30	2,137	4.03
	パーセント	43.5%	20.5%	32.5%	2.1%	1.4%	100.0%	
サブ3.5・サブ4応援枠	度数	907	359	746	86	51	2,149	3.92
	パーセント	42.2%	16.7%	34.7%	4.0%	2.4%	100.0%	
大会参加料 (12,000円)	度数	621	758	716	594	191	2,880	3.36
	パーセント	21.4%	26.1%	24.9%	20.6%	6.6%	100.0%	
参加案内パンフレット	度数	1,446	866	454	74	18	2,858	4.28
	パーセント	50.3%	30.1%	15.8%	2.6%	0.6%	100.0%	
ランナー受付 (日時)	度数	1,613	762	292	142	71	2,880	4.29
	パーセント	56.0%	26.5%	10.1%	4.9%	2.5%	100.0%	
ランナー受付 (会場・アクセス)	度数	1,318	850	333	297	86	2,884	4.05
	パーセント	45.7%	29.5%	11.5%	10.3%	3.0%	100.0%	
おこしやす広場 (出展ブース、屋台など)	度数	1,054	958	486	259	92	2,849	3.92
	パーセント	37.0%	33.6%	17.1%	9.1%	3.2%	100.0%	
大会プログラム (パンフレット)	度数	1,409	903	477	65	23	2,877	4.25
	パーセント	49.0%	31.4%	16.6%	2.3%	0.8%	100.0%	
参加賞 (BUFF)	度数	1,410	731	336	244	162	2,883	4.03
	パーセント	48.9%	25.4%	11.7%	8.5%	5.6%	100.0%	
宿泊施設の予約	度数	296	243	654	171	93	1,457	3.33
	パーセント	20.3%	16.7%	44.9%	11.7%	6.4%	100.0%	
宿泊施設の価格	度数	223	223	603	243	186	1,478	3.04
	パーセント	15.1%	15.1%	40.8%	16.4%	12.6%	100.0%	
スタッフ・ボランティアの対応	度数	2,348	408	73	41	7	2,877	4.76
	パーセント	81.6%	14.2%	2.5%	1.4%	0.2%	100.0%	
コース全体の走りやすさ	度数	763	1,030	365	558	166	2,882	3.58
	パーセント	26.5%	35.7%	12.7%	19.4%	5.8%	100.0%	
ランナーへの応援・励まし・エール	度数	2,363	426	68	31	4	2,892	4.77
	パーセント	81.4%	14.7%	2.3%	1.1%	0.1%	100.0%	
仮装の禁止	度数	1,447	422	648	175	79	2,771	4.08
	パーセント	52.2%	15.2%	23.4%	6.3%	2.9%	100.0%	



図表9. 大会満足度2

N=2,902、n=2,883

		満足	やや満足	どちらでもない	やや不満足	不満足	合計	平均得点 (5点満点)
スタート会場へのアクセス	度数	1,629	771	274	161	39	2,874	4.32
	パーセント	56.7%	26.8%	9.5%	5.6%	1.4%	100.0%	
案内サイン (スタート会場)	度数	1,656	799	253	136	28	2,872	4.36
	パーセント	57.7%	27.8%	8.8%	4.7%	1.0%	100.0%	
更衣エリア (スタート会場)	度数	916	624	394	227	88	2,249	3.91
	パーセント	40.7%	27.7%	17.5%	10.1%	3.9%	100.0%	
屋内更衣室 (スタート会場体育館)	度数	851	479	363	115	45	1,853	4.07
	パーセント	45.9%	25.8%	19.6%	6.2%	2.4%	100.0%	
手荷物預かり (スタート会場)	度数	1,684	758	224	118	41	2,825	4.39
	パーセント	59.6%	26.8%	7.9%	4.2%	1.5%	100.0%	
トイレの数 (スタート会場)	度数	1,024	822	318	435	198	2,797	3.73
	パーセント	36.6%	29.4%	11.4%	15.6%	7.1%	100.0%	
スタートブロックでの防寒着の着用(回収、リユース・リサイクル)	度数	1,799	564	155	38	12	2,568	4.60
	パーセント	70.1%	22.0%	6.0%	1.5%	0.5%	100.0%	
ドリンクサービス (スタート会場)	度数	1,228	597	302	65	19	2,211	4.33
	パーセント	55.5%	27.0%	13.7%	2.9%	0.9%	100.0%	
整列ブロック (完走経験者、未経験者の順)	度数	1,525	754	326	169	77	2,851	4.22
	パーセント	53.5%	26.4%	11.1%	5.9%	2.7%	100.0%	
スタートセレモニー	度数	890	810	704	285	124	2,813	3.73
	パーセント	31.6%	28.8%	25.0%	10.1%	4.4%	100.0%	
スタート会場の応援	度数	1,346	837	563	74	22	2,842	4.20
	パーセント	47.4%	29.5%	19.8%	2.6%	0.8%	100.0%	

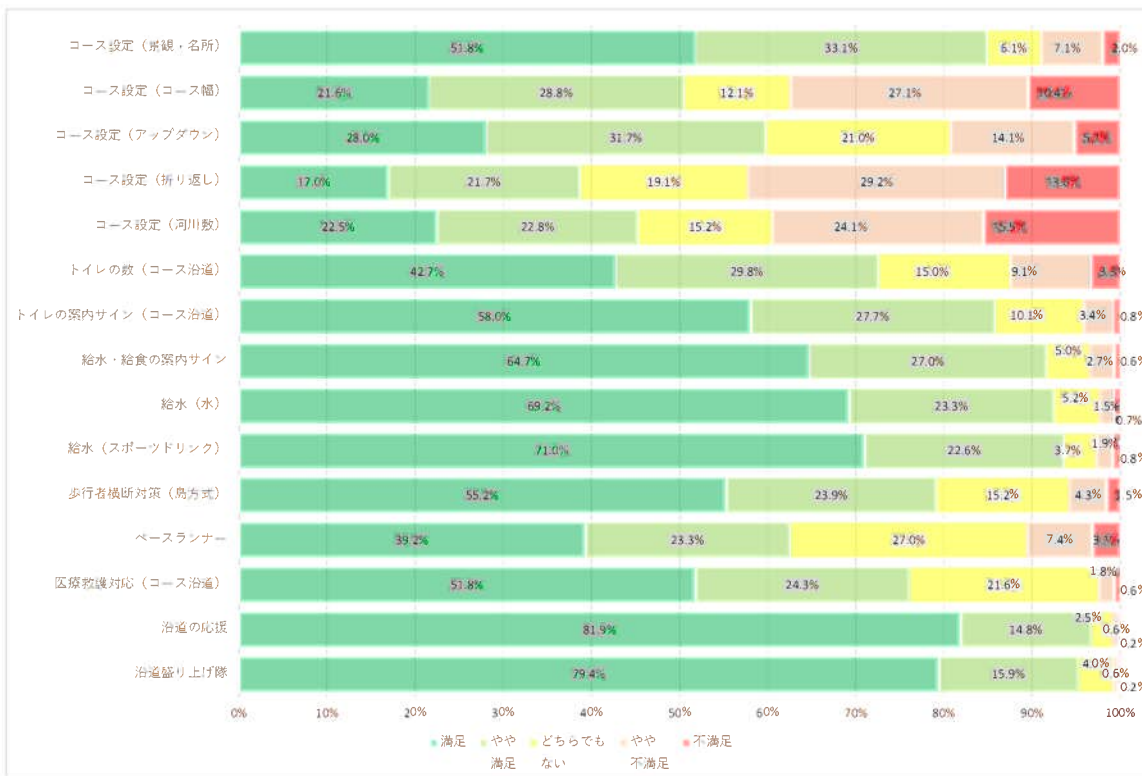


3-3) 大会満足度3 (コース)

図表10. 大会満足度3

N=2,902、n=2,866

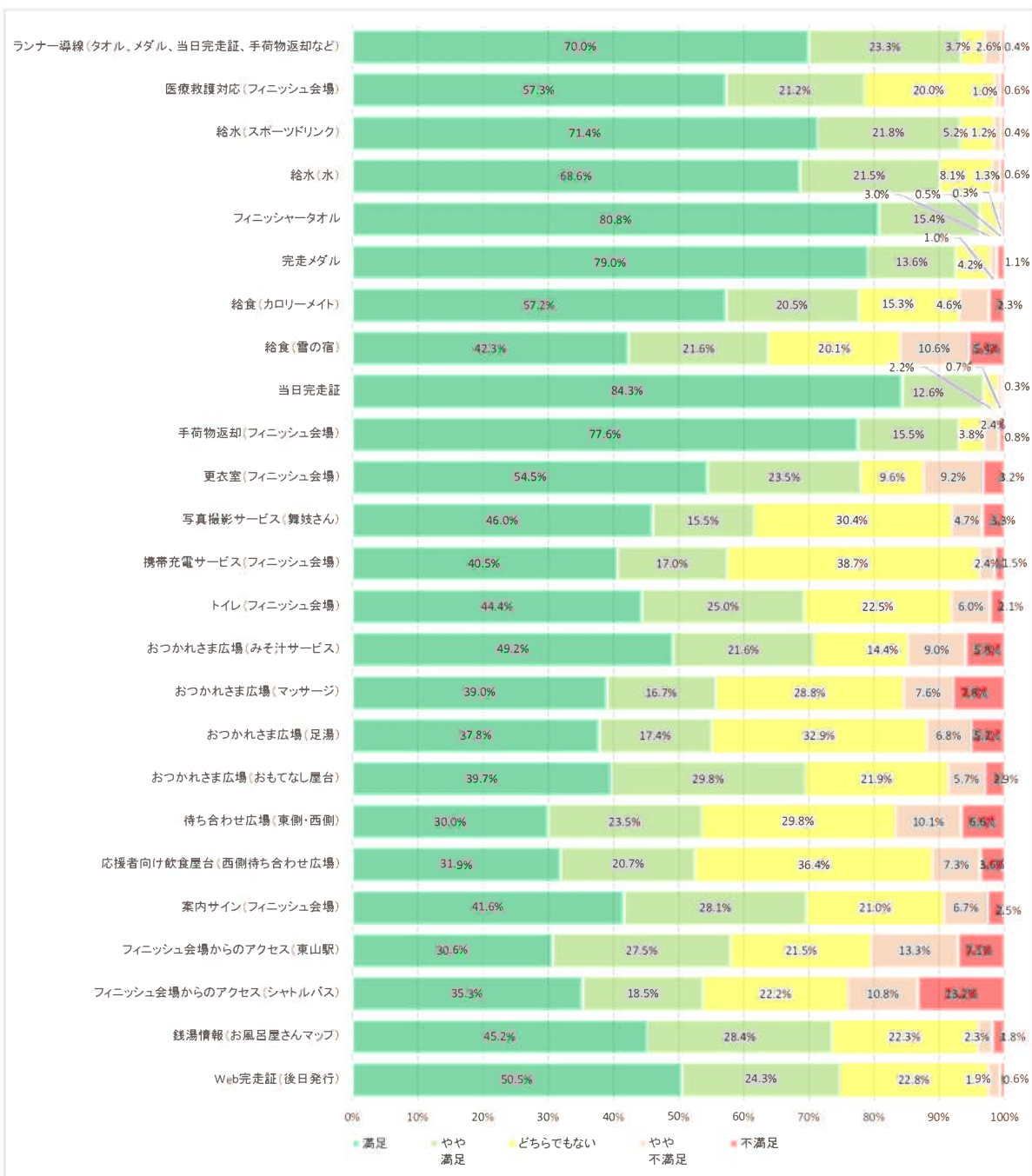
		満足	やや満足	どちらでもない	やや不満足	不満足	合計	平均得点 (5点満点)
コース設定 (景観・名所)	度数	1,483	948	175	202	56	2,864	4.26
	パーセント	51.8%	33.1%	6.1%	7.1%	2.0%	100%	
コース設定 (コース幅)	度数	617	825	347	774	297	2,860	3.24
	パーセント	21.6%	28.8%	12.1%	27.1%	10.4%	100%	
コース設定 (アップダウン)	度数	801	905	601	402	147	2,856	3.63
	パーセント	28.0%	31.7%	21.0%	14.1%	5.1%	100%	
コース設定 (折り返し)	度数	484	620	544	834	372	2,854	3.00
	パーセント	17.0%	21.7%	19.1%	29.2%	13.0%	100%	
コース設定 (河川敷)	度数	638	648	431	683	439	2,839	3.13
	パーセント	22.5%	22.8%	15.2%	24.1%	15.5%	100%	
トイレの数 (コース沿道)	度数	970	678	341	207	76	2,272	3.99
	パーセント	42.7%	29.8%	15.0%	9.1%	3.3%	100%	
トイレの案内サイン (コース沿道)	度数	1,450	693	253	84	19	2,499	4.39
	パーセント	58.0%	27.7%	10.1%	3.4%	0.8%	100%	
給水・給食の案内サイン	度数	1,842	769	142	78	18	2,849	4.52
	パーセント	64.7%	27.0%	5.0%	2.7%	0.6%	100%	
給水 (水)	度数	1,950	658	147	43	21	2,819	4.59
	パーセント	69.2%	23.3%	5.2%	1.5%	0.7%	100%	
給水 (スポーツドリンク)	度数	2,011	641	105	54	22	2,833	4.61
	パーセント	71.0%	22.6%	3.7%	1.9%	0.8%	100%	
歩行者横断対策 (島方式)	度数	1,559	676	425	120	43	2,823	4.27
	パーセント	55.2%	23.9%	15.2%	4.3%	1.5%	100%	
ベースランナー	度数	825	489	567	155	66	2,102	3.88
	パーセント	39.2%	23.3%	27.0%	7.4%	3.1%	100%	
医療救護対応 (コース沿道)	度数	967	453	403	33	12	1,868	4.25
	パーセント	51.8%	24.3%	21.6%	1.8%	0.6%	100%	
沿道の応援	度数	2,339	424	72	17	5	2,857	4.78
	パーセント	81.9%	14.8%	2.5%	0.6%	0.2%	100%	
沿道盛り上げ隊	度数	2,265	453	113	17	6	2,854	4.74
	パーセント	79.4%	15.9%	4.0%	0.6%	0.2%	100%	



図表11. 大会満足度4

N=2,902、n=2,851

		満足	やや満足	どちらでもない	やや不満足	不満足	合計	平均得点 (5点満点)
ランナー導線 (タオル、メダル、 当日完走証、手荷物返却など)	度数	1,976	658	103	72	12	2,821	4.60
	パーセント	70.0%	23.3%	3.7%	2.6%	0.4%	100.0%	
医療救護対応 (フィニッシュ会場)	度数	895	331	313	15	9	1,563	4.34
	パーセント	57.3%	21.2%	20.0%	1.0%	0.6%	100.0%	
給水 (スポーツドリンク)	度数	1,976	603	145	33	12	2,769	4.62
	パーセント	71.4%	21.8%	5.2%	1.2%	0.4%	100.0%	
給水 (水)	度数	1,804	564	212	33	15	2,628	4.56
	パーセント	68.6%	21.5%	8.1%	1.3%	0.6%	100.0%	
フィニッシャータオル	度数	2,267	433	83	14	9	2,806	4.76
	パーセント	80.8%	15.4%	3.0%	0.5%	0.3%	100.0%	
完走メダル	度数	2,214	380	147	28	32	2,801	4.68
	パーセント	79.0%	13.6%	4.2%	1.0%	1.1%	100.0%	
給食 (カロリーメイト)	度数	1,596	571	427	129	65	2,788	4.26
	パーセント	57.2%	20.5%	15.3%	4.6%	2.3%	100.0%	
給食 (雪の宿)	度数	1,065	544	505	266	137	2,517	3.85
	パーセント	42.3%	21.6%	20.1%	10.6%	5.4%	100.0%	
当日完走証	度数	2,349	351	60	20	7	2,787	4.80
	パーセント	84.3%	12.6%	2.2%	0.7%	0.3%	100.0%	
手荷物返却 (フィニッシュ会場)	度数	2,162	432	106	66	21	2,787	4.67
	パーセント	77.6%	15.5%	3.8%	2.4%	0.8%	100.0%	
更衣室 (フィニッシュ会場)	度数	1,427	617	252	240	84	2,620	4.17
	パーセント	54.5%	23.5%	9.6%	9.2%	3.2%	100.0%	
写真撮影サービス (舞妓さん)	度数	592	200	391	61	43	1,287	3.96
	パーセント	46.0%	15.5%	30.4%	4.7%	3.3%	100.0%	
携帯充電サービス (フィニッシュ 会場)	度数	413	173	394	24	15	1,019	3.93
	パーセント	40.5%	17.0%	38.7%	2.4%	1.5%	100.0%	
トイレ (フィニッシュ会場)	度数	848	478	430	114	41	1,911	4.04
	パーセント	44.4%	25.0%	22.5%	6.0%	2.1%	100.0%	
おつかれさま広場 (みそ汁サービ ス)	度数	841	370	246	154	100	1,711	3.99
	パーセント	49.2%	21.6%	14.4%	9.0%	5.8%	100.0%	
おつかれさま広場 (マッサージ)	度数	419	180	310	82	84	1,075	3.71
	パーセント	39.0%	16.7%	28.8%	7.6%	7.8%	100.0%	
おつかれさま広場 (足湯)	度数	374	172	326	67	51	990	3.76
	パーセント	37.8%	17.4%	32.9%	6.8%	5.2%	100.0%	
おつかれさま広場 (おもてなし屋 台)	度数	594	447	328	85	44	1,498	3.98
	パーセント	39.7%	29.8%	21.9%	5.7%	2.9%	100.0%	
待ち合わせ広場 (東側・西側)	度数	456	357	453	154	100	1,520	3.60
	パーセント	30.0%	23.5%	29.8%	10.1%	6.6%	100.0%	
応援者向け飲食屋台 (西側待ち合 わせ広場)	度数	352	228	402	81	40	1,103	3.70
	パーセント	31.9%	20.7%	36.4%	7.3%	3.6%	100.0%	
案内サイン (フィニッシュ会場)	度数	1,080	730	546	175	66	2,597	3.99
	パーセント	41.6%	28.1%	21.0%	6.7%	2.5%	100.0%	
フィニッシュ会場からのアクセス (東山駅)	度数	634	568	445	275	147	2,069	3.61
	パーセント	30.6%	27.5%	21.5%	13.3%	7.1%	100.0%	
フィニッシュ会場からのアクセス (シャトルバス)	度数	489	256	308	150	183	1,386	3.52
	パーセント	35.3%	18.5%	22.2%	10.8%	13.2%	100.0%	
銭湯情報 (お風呂屋さんマップ)	度数	714	449	352	37	28	1,580	4.13
	パーセント	45.2%	28.4%	22.3%	2.3%	1.8%	100.0%	
Web完走証 (後日発行)	度数	1,046	504	472	39	12	2,073	4.22
	パーセント	50.5%	24.3%	22.8%	1.9%	0.6%	100.0%	

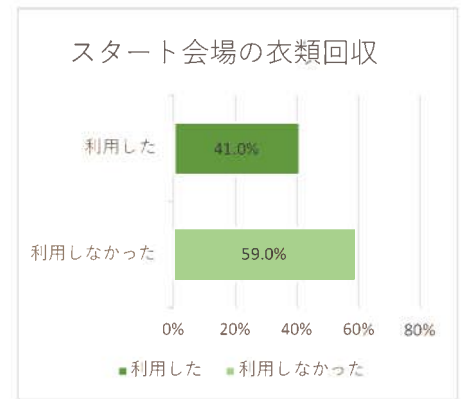


3-5) スタート会場の衣類回収

図表12-1. スタート会場の衣類回収

N=2,902、n=2,845

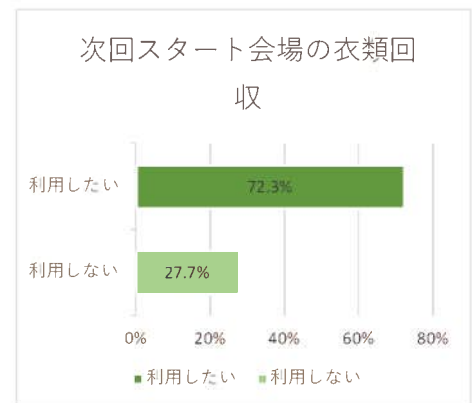
スタート会場の衣類回収		
	度数	パーセント
利用した	1,167	41.0%
利用しなかった	1,678	59.0%
合計	2,845	100.0%



図表12-2. 次回のスタート会場の衣類回収

N=2,902、n=2,841

次回スタート会場の衣類回収		
	度数	パーセント
利用したい	2,053	72.3%
利用しない	788	27.7%
合計	2,841	100.0%

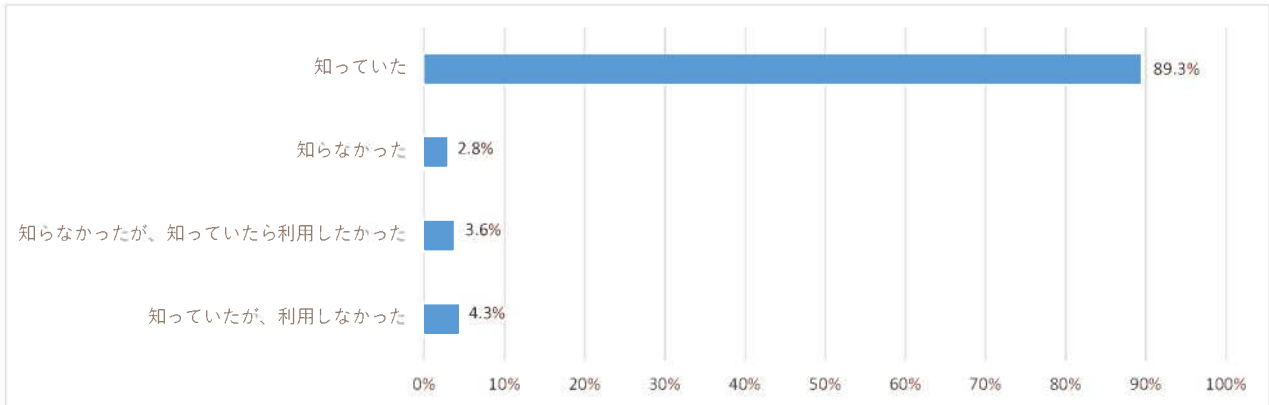


3-6) ランナー受付時の簡易ポンチの配布

図表13. ランナー受付時の簡易ポンチの配布

N=2,902、n=2,846

	度数	パーセント
知っていた	2,541	89.3%
知らなかった	81	2.8%
知らなかったが、知っていたら利用したかった	102	3.6%
知っていたが、利用しなかった	122	4.3%
合計	2,846	100.0%

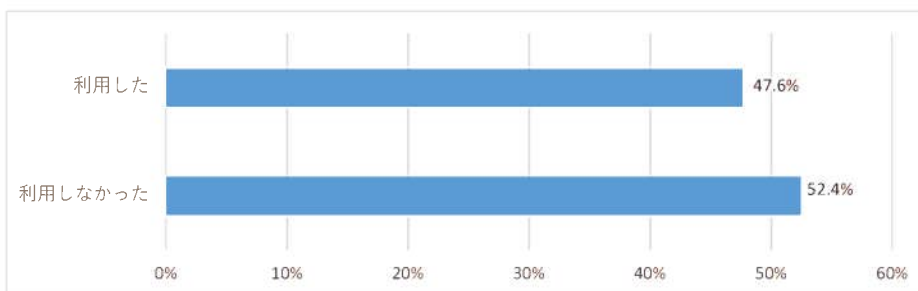


3-7) おつかれさま広場の利用

図表14. おつかれさま広場（みやこめっせ3階）の利用

N=2,902、n=2,837

	度数	パーセント
利用した	1,350	47.6%
利用しなかった	1,487	52.4%
合計	2,837	100.0%

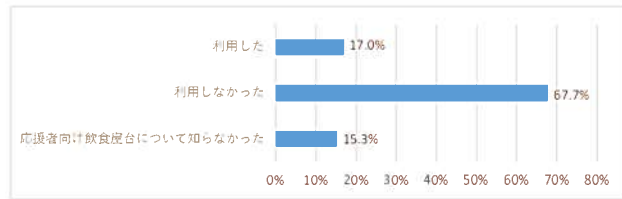


3-8) 飲食屋台 (西側待ち合わせ広場)

図表15. 飲食屋台の利用(西側待ち合わせ広場)

N=2,902、n=2,839

	度数	パーセント
利用した	483	17.0%
利用しなかった	1,921	67.7%
応援者向け飲食屋台について知らなかった	435	15.3%
合計	2,839	100.0%

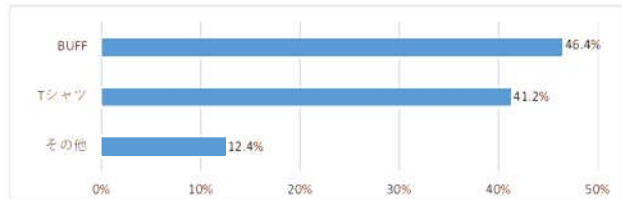


3-9) 参加賞の希望

図表16. 参加賞の希望

N=2,902、n=2,821

	度数	パーセント
BUFF	1,309	46.4%
Tシャツ	1,161	41.2%
その他	351	12.4%
合計	2,821	100.0%

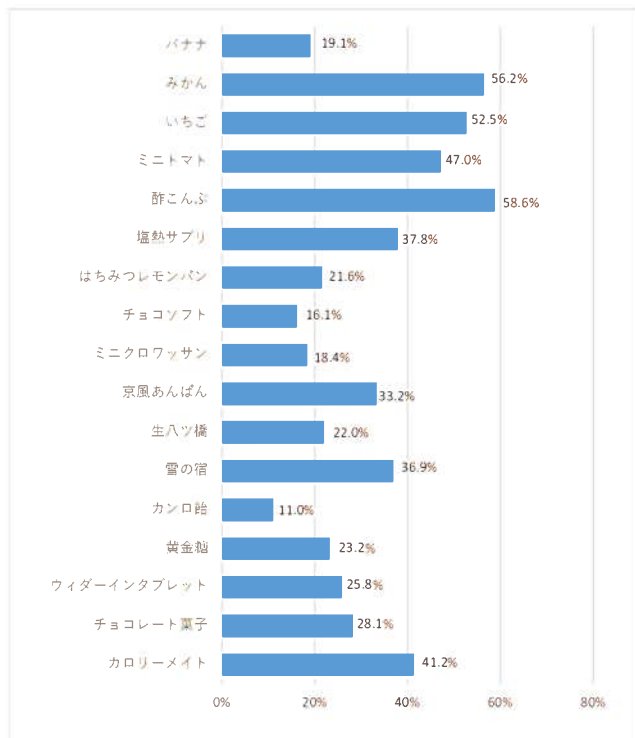


3-10) よかったと思う給食メニュー

図表22. よかったと思う給食メニュー (複数回答)

N=2,902、n=2,740

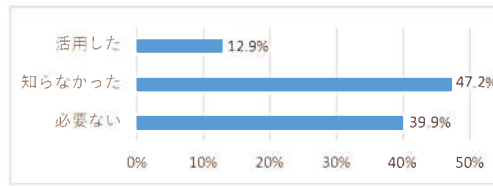
	応答数	パーセント
バナナ	522	19.1%
みかん	1,539	56.2%
いちご	1,439	52.5%
ミニトマト	1,289	47.0%
酢こんぶ	1,605	58.6%
塩熱サブリ	1,035	37.8%
はちみつレモンパン	592	21.6%
チョコソフト	441	16.1%
ミニクワッサン	503	18.4%
京風あんぱん	909	33.2%
生八ツ橋	604	22.0%
雪の宿	1,012	36.9%
カン口飴	301	11.0%
黄金糖	637	23.2%
ウィダーインタブレット	706	25.8%
チョコレート菓子	771	28.1%
カロリーメイト	1,128	41.2%
合計	15,033	



3-11) マイカップ・マイボトル専用給水所の活用

図表18. マイカップ・マイボトル専用給水所の活用

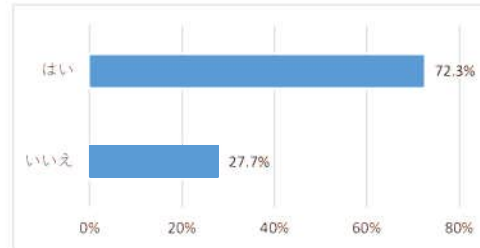
N=2,902、n=2,800		
	度数	パーセント
活用した	362	12.9%
知らなかった	1,321	47.2%
必要ない	1,117	39.9%
合計	2,800	100.0%



3-12) マイカップ・マイボトルの取組主旨への賛同

図表19. マイカップ・マイボトルの取組主旨への賛同

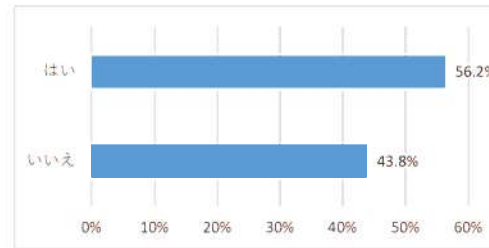
N=2,902、n=2,841		
	度数	パーセント
はい	2,053	72.3%
いいえ	788	27.7%
合計	2,841	100.0%



3-13) ファーストエイドサポーター

図表25. ファーストエイドサポーター

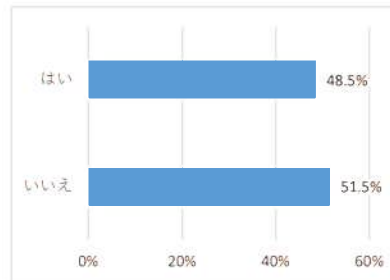
N=2,902、n=2,829		
	度数	パーセント
はい	1,591	56.2%
いいえ	1,238	43.8%
合計	2,829	100.0%



3-14) ファーストエイドサポーター参加意思

図表26. ファーストエイドサポーター参加意思

N=2,902、n=2,826		
	度数	パーセント
はい	1,371	48.5%
いいえ	1,455	51.5%
合計	2,826	100.0%

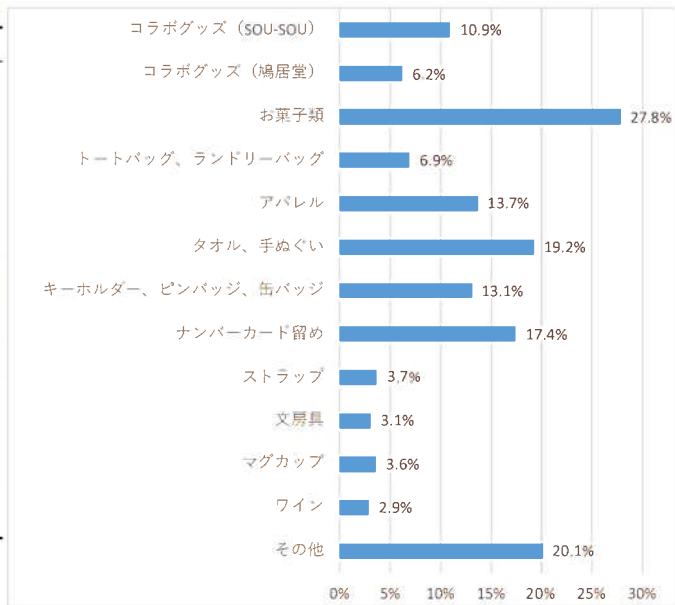


3-15) オフィシャルグッズ

図表27. オフィシャルグッズの購入 (複数回答)

N=2,902、n=2,174

	応答数	パーセント
コラボグッズ (SOU-SOU)	159	10.9%
コラボグッズ (鳩居堂)	91	6.2%
お菓子類	406	27.8%
トートバッグ、ランドリーバッグ	101	6.9%
アパレル	201	13.7%
タオル、手ぬぐい	281	19.2%
キーホルダー、ピンバッジ、缶バッジ	191	13.1%
ナンバーカード留め	254	17.4%
ストラップ	54	3.7%
文房具	46	3.1%
マグカップ	53	3.6%
ワイン	43	2.9%
その他	294	20.1%
合計	2,174	

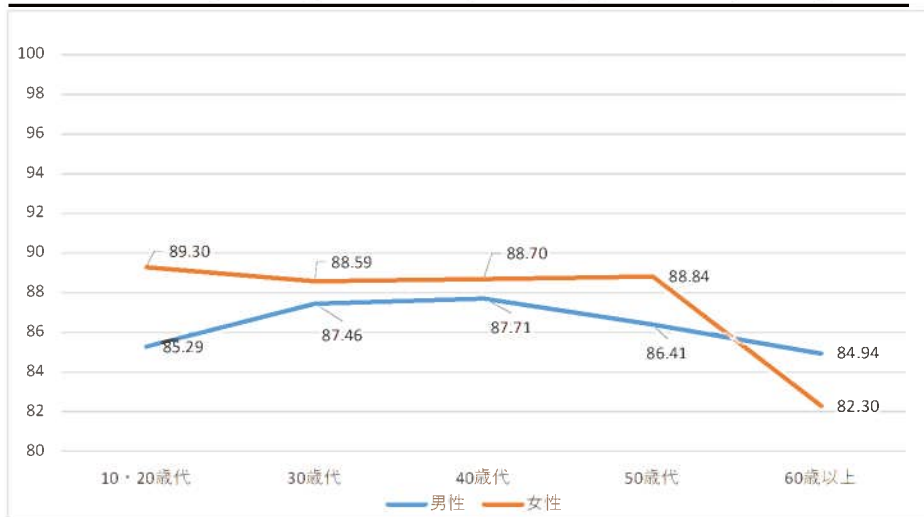


3-16) 総合的満足度

図表23. 総合的満足度 (100点満点)

N=2,902、n=2,677

	10・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	全体
男性	85.29	87.46	87.71	86.41	84.94	86.87
女性	89.30	88.59	88.70	88.84	82.30	88.38
全体	86.84	87.76	87.97	86.96	84.49	87.24

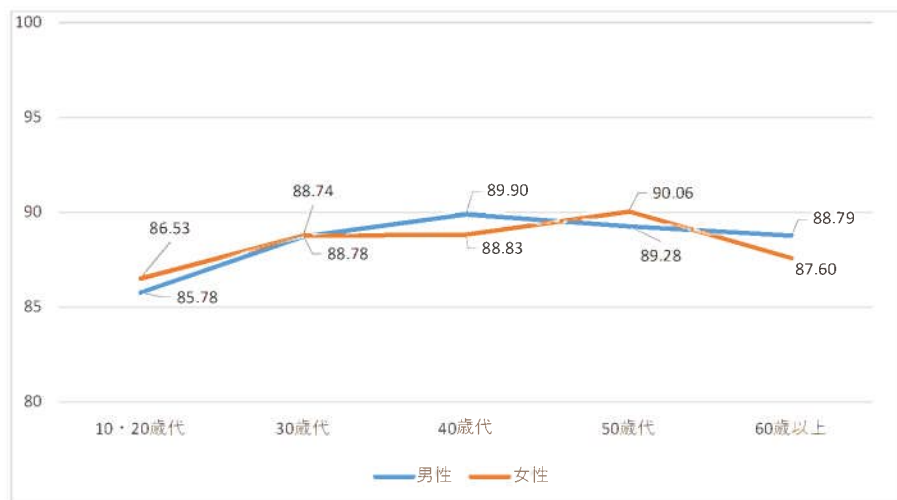


3-17) 京都マラソン2019参加意欲

図表24. 京都マラソン2019参加意欲 (100点満点)

N=2,902、n=2,661

	10・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	全体
男性	85.78	88.74	89.90	89.28	88.79	89.24
女性	86.53	88.78	88.83	90.06	87.60	88.95
全体	86.07	88.75	89.62	89.45	88.58	89.17



4. 大会参加

京都マラソン会場までの交通手段については、電車を利用するランナーが7割以上で最も多かった。自宅から会場までの所用時間では、完走タイムが速いほど所要時間が長くなる傾向がある。

京都市外在住のうち約6割が宿泊している。同伴数については、同伴者がなく1人で参加するランナーが6割以上となっている。情報入手ルートについては、ランナーの8割以上がウェブサイトを利用していると回答している。ウェブサイトでは男性の方が利用する割合が高いのに対して、友人・知人・家族、SNSでは女性の方が利用する割合が高くなっている。

京都マラソンについての口コミ情報入手ルートは、男女ともに「ランニングサイトの個人による投稿」が最も多く、男性は61.6%、女性は53.7%であった。京都マラソンに出場することを決めるにあたっての口コミ情報の影響力の大きさは、全体では52.1%で、どの世代においても男性より女性の方が影響を大きく受けており、とくに60歳以上の女性が70.1%と最も高かった。

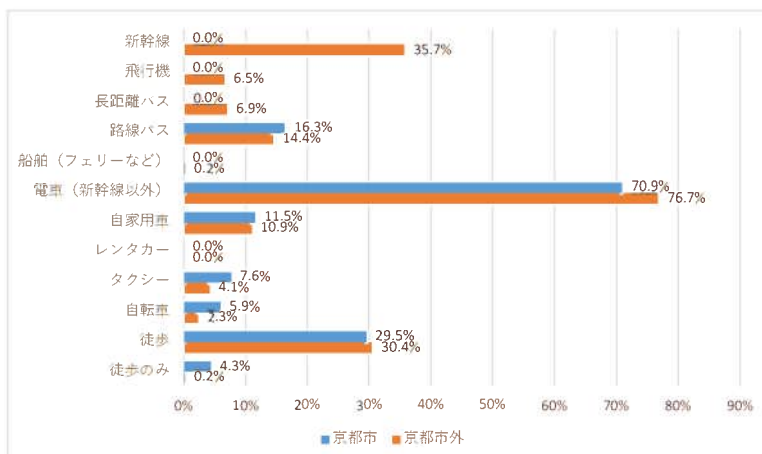
京都市外在住者の参加理由で最も多い回答は観光名所を走ることができるからである。京都市外在住者の女性は男性よりも観光名所を走ることを参加理由としているランナーが多いのに比べ、男性は女性よりも都市型市民マラソンだからを参加理由としているランナーが多い。京都マラソンのボランティア経験のある回答者は全体の

4-1) 京都マラソン会場までの交通手段

図表25. 京都マラソン会場までの交通手段（複数回答）

N=2,902、n=2,679

		居住地		合計
		京都市	京都市外	
新幹線	度数	0	792	792
	パーセント	0.0%	35.7%	
飛行機	度数	0	145	145
	パーセント	0.0%	6.5%	
長距離バス	度数	0	153	153
	パーセント	0.0%	6.9%	
路線バス	度数	75	319	394
	パーセント	16.3%	14.4%	
船舶（フェリーなど）	度数	0	4	4
	パーセント	0.0%	0.2%	
電車（新幹線以外）	度数	327	1,702	2,029
	パーセント	70.9%	76.7%	
自家用車	度数	53	241	294
	パーセント	11.5%	10.9%	
レンタカー	度数	0	1	1
	パーセント	0.0%	0.0%	
タクシー	度数	35	92	127
	パーセント	7.6%	4.1%	
自転車	度数	27	51	78
	パーセント	5.9%	2.3%	
徒歩	度数	136	675	811
	パーセント	29.5%	30.4%	
徒歩のみ	度数	20	4	24
	パーセント	4.3%	0.2%	
合計（応答者数）		461	2,218	2,679

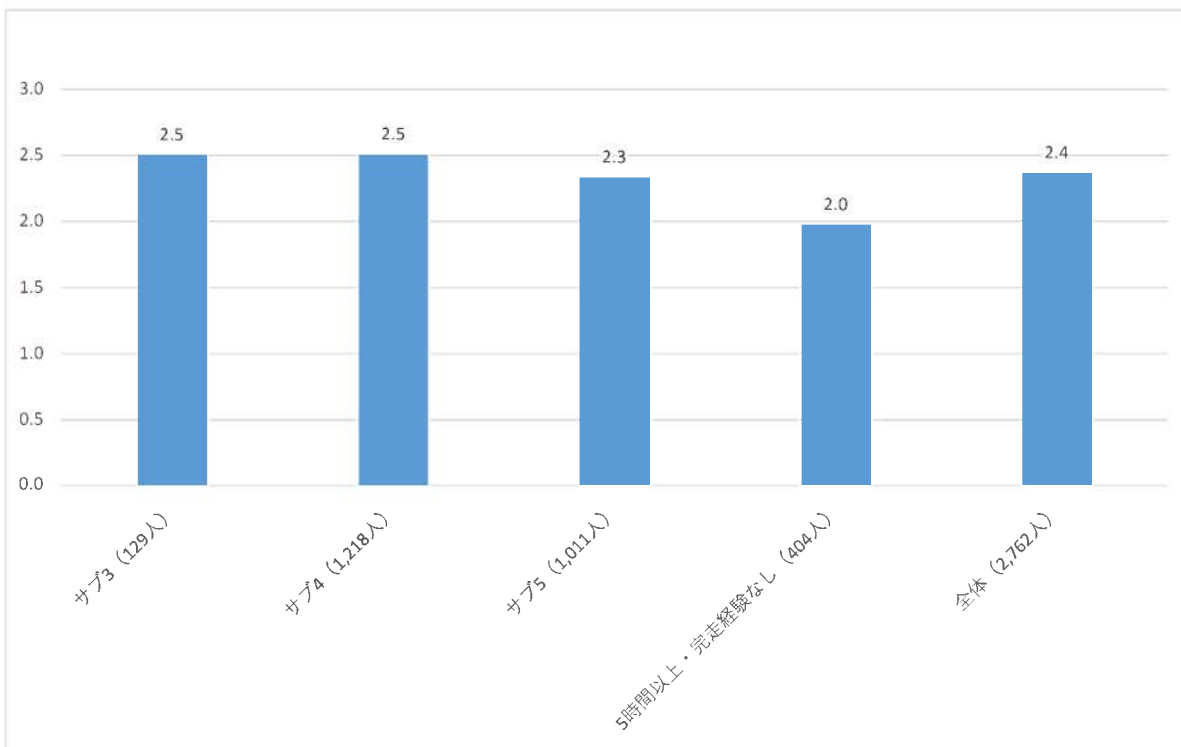


4-2) 自宅から会場までの所要時間

図表26. 自宅から会場までの所要時間(時間)

N=2,902、n=2,762

ランナータイプ	平均値
サブ3 (129人)	2.5
サブ4 (1,218人)	2.5
サブ5 (1,011人)	2.3
5時間以上・完走経験なし (404人)	2.0
全体 (2,762人)	2.4

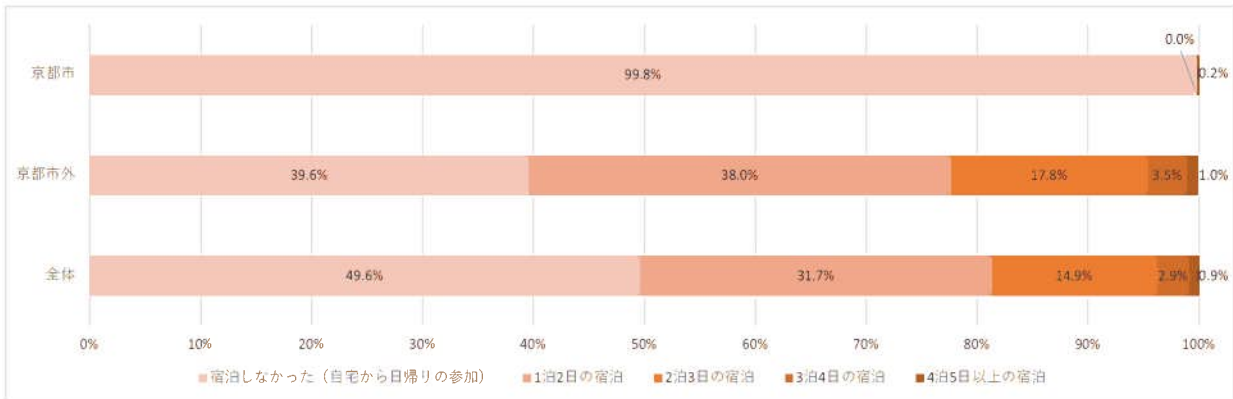


4-3) 宿泊の有無

図表27. 宿泊の有無

N=2,902、n=2,780

		宿泊の有無					合計
		宿泊しなかった (自宅から日帰りの参加)	1泊2日の宿泊	2泊3日の宿泊	3泊4日の宿泊	4泊5日以上の宿泊	
京都市	度数	460	0	0	0	1	461
	パーセント	99.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	100.0%
京都市外	度数	918	882	413	82	24	2,319
	パーセント	39.6%	33.0%	17.8%	3.5%	1.0%	100.0%
全体	度数	1,378	882	413	82	25	2,780
	パーセント	49.6%	31.7%	14.9%	2.9%	0.9%	100.0%

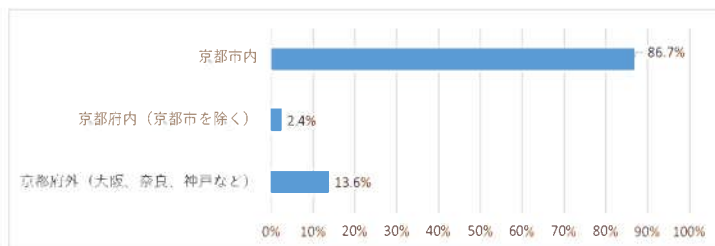


4-4) 宿泊した場所

図表28. 宿泊者の宿泊した場所 (複数回答)

N=2,902、n=1,387

	応答数	パーセント
京都市内	1,202	86.7%
京都府内 (京都市を除く)	33	2.4%
京都府外 (大阪、奈良、神戸など)	189	13.6%



4-5) 同伴者数及び傾向

図表29-1. 同伴者数のうち市内・市外の傾向

N=2,902、n=2,742

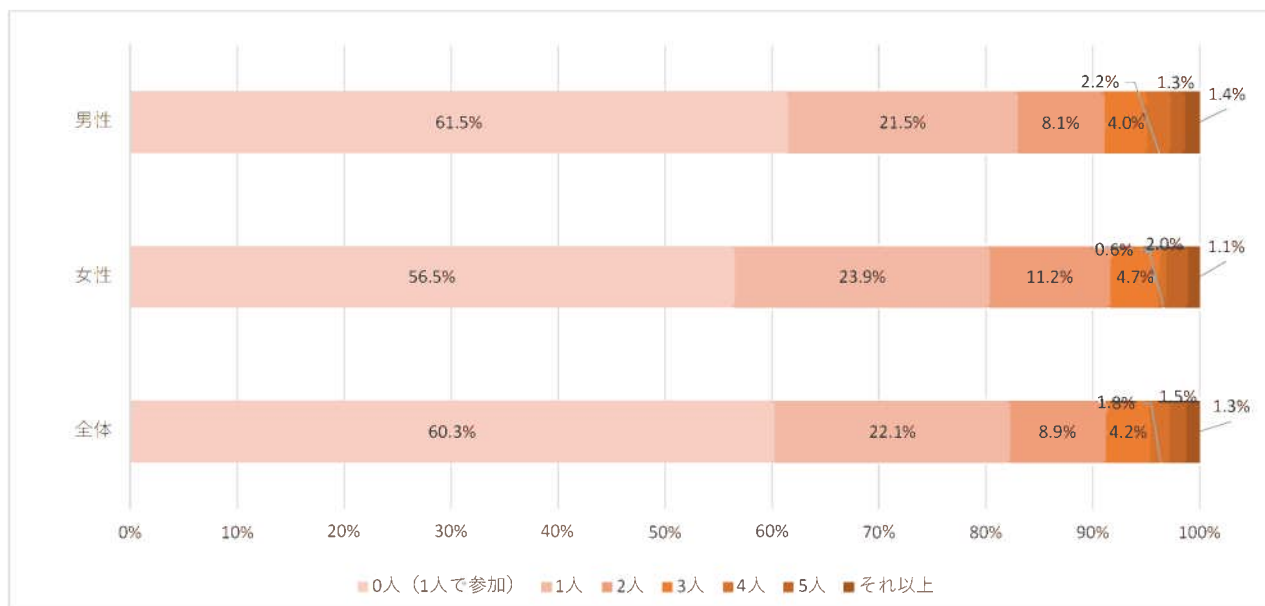
		0人 (1人で参加)	1人	2人	3人	4人	5人	それ以上	合計
京都市	度数	280	69	40	31	13	14	14	461
	パーセント	60.7%	15.0%	8.7%	6.7%	2.8%	3.0%	3.0%	100.0%
京都市外	度数	1,370	535	207	85	35	25	24	2,281
	パーセント	60.1%	23.5%	9.1%	3.7%	1.5%	1.1%	1.1%	100.0%
全体	度数	1,650	604	247	116	48	39	38	2,742
	パーセント	60.2%	22.0%	9.0%	4.2%	1.8%	1.4%	1.4%	100.0%



図表29-2. 同伴者数のうち性別の傾向

N=2,902、n=2,673

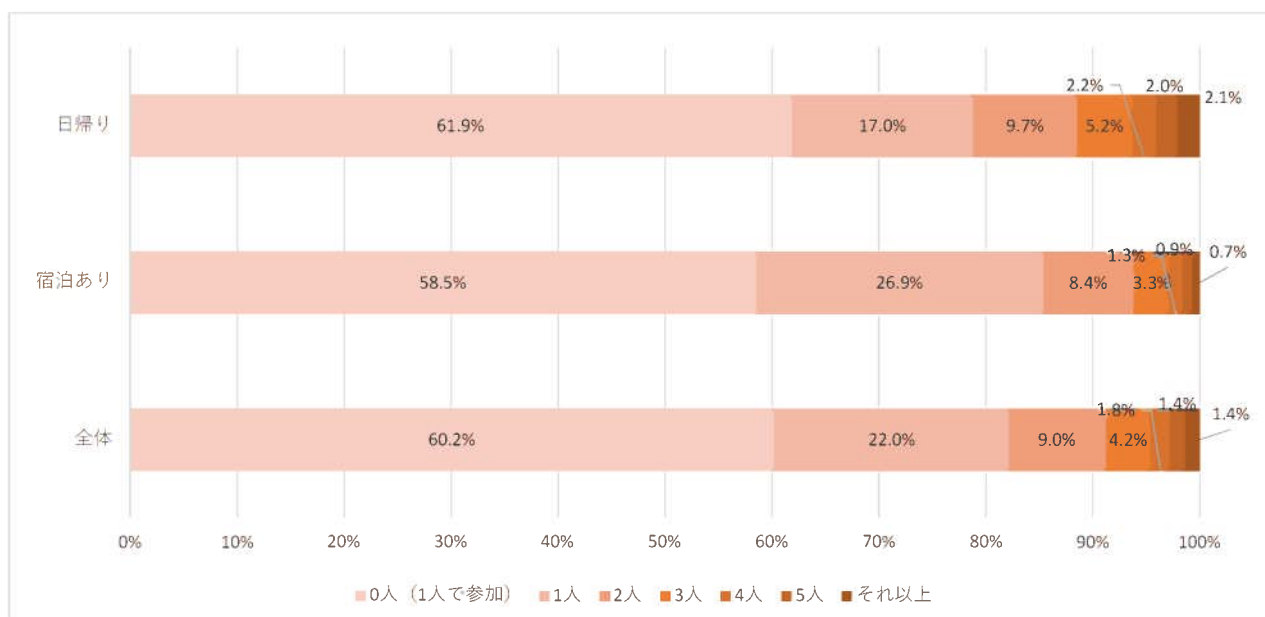
		0人 (1人で参加)	1人	2人	3人	4人	5人	それ以上	合計
男性	度数	1,239	432	163	81	44	26	28	2,013
	パーセント	61.5%	21.5%	8.1%	4.0%	2.2%	1.3%	1.4%	100.0%
女性	度数	373	158	74	31	4	13	7	660
	パーセント	56.5%	23.9%	11.2%	4.7%	0.6%	2.0%	1.1%	100.0%
全体	度数	1,612	590	237	112	48	39	35	2,673
	パーセント	60.3%	22.1%	8.9%	4.2%	1.8%	1.5%	1.3%	100.0%



図表29-3. 同伴者数のうち日帰り・宿泊の傾向

N=2,902、n=2,742

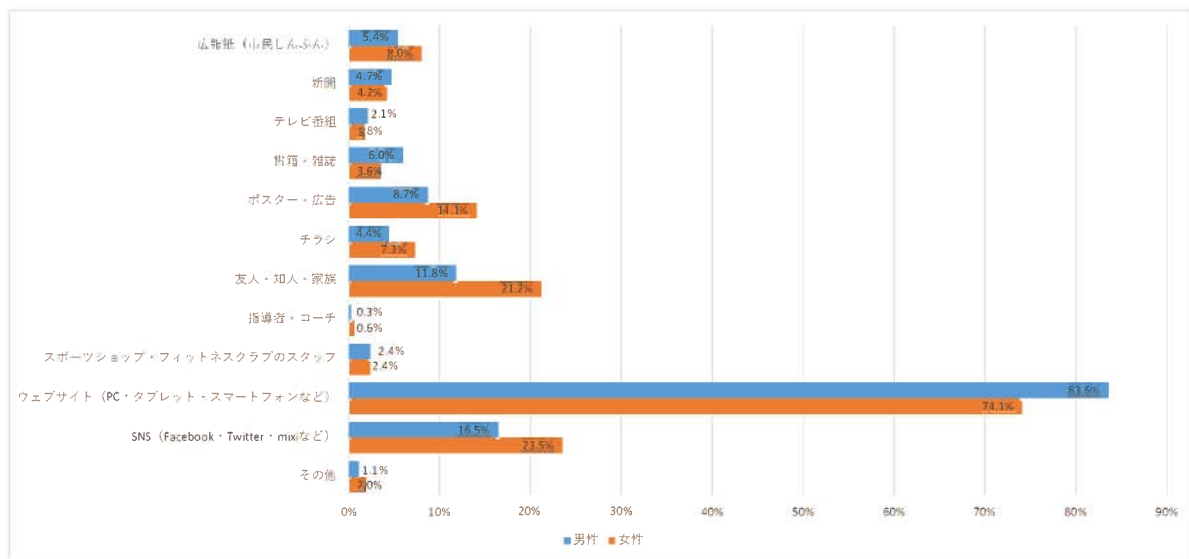
		0人 (1人で参加)	1人	2人	3人	4人	5人	それ以上	合計
日帰り	度数	839	231	131	70	30	27	28	1,356
	パーセント	61.9%	17.0%	9.7%	5.2%	2.2%	2.0%	2.1%	100.0%
宿泊あり	度数	811	373	116	46	18	12	10	1,386
	パーセント	58.5%	26.9%	8.4%	3.3%	1.3%	0.9%	0.7%	100.0%
全体	度数	1,650	604	247	116	48	39	38	2,742
	パーセント	60.2%	22.0%	9.0%	4.2%	1.8%	1.4%	1.4%	100.0%



図表30-1. 性別による情報入手ルート (複数回答)

N=2,902, n=2,673

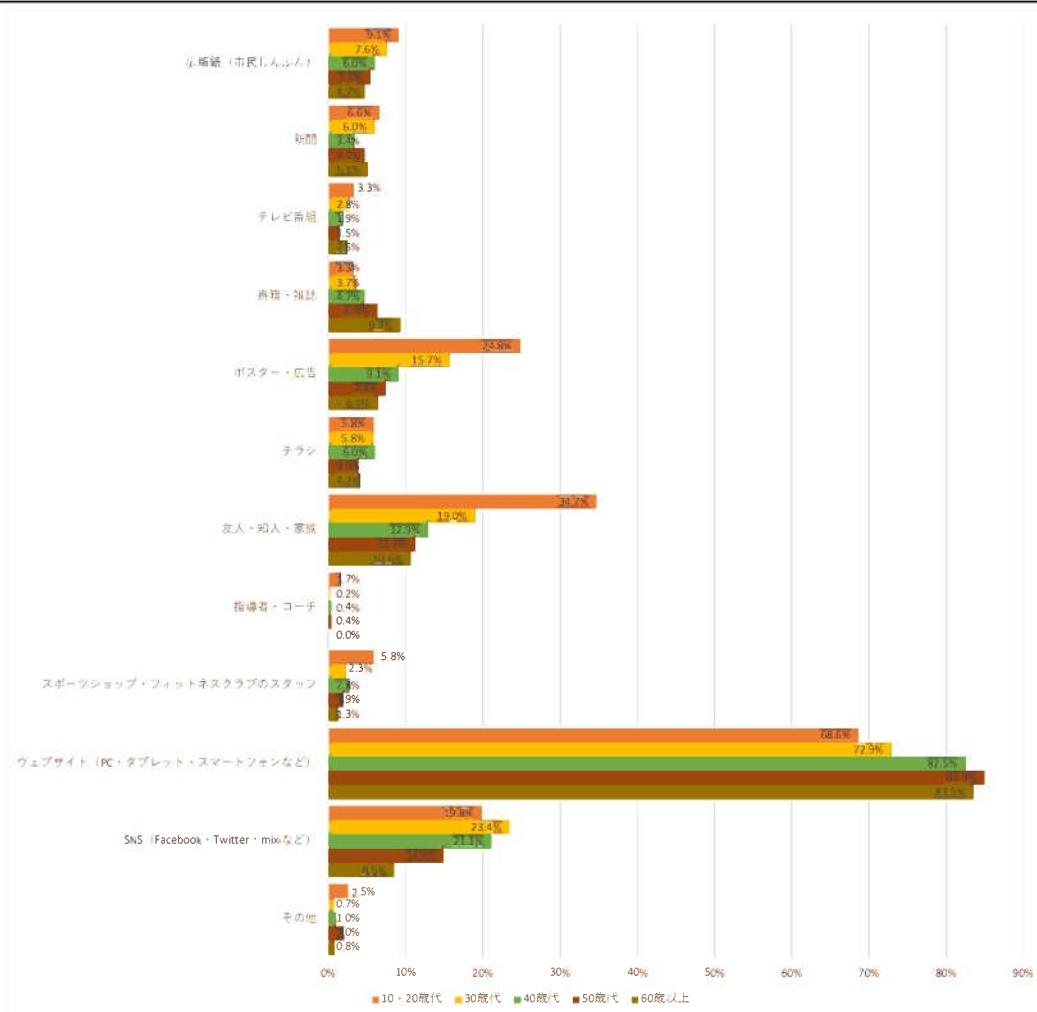
	広報紙 (市民しんぶん)	新聞	テレビ番組	書籍・雑誌	ポスター・広告	チラシ	友人・知人・家族	指導者・コーチ	スポーツショップ・フィットネスクラブのスタッフ	ウェブサイト (PC・タブレット・スマートフォンなど)	SNS (Facebook・Twitter・mixiなど)	その他	
男性 (2,013人)	度数	109	94	42	120	176	88	237	7	49	1,682	332	23
	パーセント	5.4%	4.7%	2.1%	6.0%	8.7%	4.4%	11.8%	0.3%	2.4%	83.6%	16.5%	1.1%
女性 (660人)	度数	53	28	12	24	93	48	140	4	16	489	155	13
	パーセント	8.0%	4.2%	1.8%	3.6%	14.1%	7.3%	21.2%	0.6%	2.4%	74.1%	23.5%	2.0%
合計 (2,673人)	度数	162	122	54	144	269	136	377	11	65	2,171	487	36
	パーセント	6.1%	4.6%	2.0%	5.4%	10.1%	5.1%	14.1%	0.4%	2.4%	81.2%	18.6%	1.3%



図表30-2. 年代別の情報入手ルート (複数回答)

N=2,902, n=2,673

	広報紙(市民しんぶん)	新聞	テレビ番組	書籍・雑誌	ポスター・広告	チラシ	友人・知人・家族	指導者・コーチ	スポーツショップ・フィットネスクラブのスタッフ	ウェブサイト(PC・タブレット・スマートフォンなど)	SNS (Facebook・Twitter・mixiなど)	その他	
10・20歳代 (121人)	度数	11	8	4	4	30	7	42	2	7	83	24	3
	パーセント	9.1%	6.6%	3.3%	3.3%	24.8%	5.8%	34.7%	1.7%	5.8%	68.6%	19.8%	2.5%
30歳代 (432人)	度数	33	26	12	16	68	25	82	1	10	315	101	3
	パーセント	7.6%	6.0%	2.8%	3.7%	15.7%	5.8%	19.0%	0.2%	2.3%	72.9%	23.4%	0.7%
40歳代 (989人)	度数	59	34	19	46	90	59	128	4	28	816	209	10
	パーセント	6.0%	3.4%	1.9%	4.7%	9.1%	6.0%	12.9%	0.4%	2.8%	82.5%	21.1%	1.0%
50歳代 (895人)	度数	48	42	13	56	66	35	100	4	17	760	133	18
	パーセント	5.4%	4.7%	1.5%	6.3%	7.4%	3.9%	11.2%	0.4%	1.9%	84.9%	14.9%	2.0%
60歳以上 (236人)	度数	11	12	6	22	15	10	25	0	3	197	20	2
	パーセント	4.7%	5.1%	2.5%	9.3%	6.4%	4.2%	10.6%	0.0%	1.3%	83.5%	8.5%	0.8%
全体 (2,673人)	度数	162	122	54	144	269	136	377	11	65	2,171	487	36
	パーセント	6.1%	4.6%	2.0%	5.4%	10.1%	5.1%	14.1%	0.4%	2.4%	81.2%	18.2%	1.3%

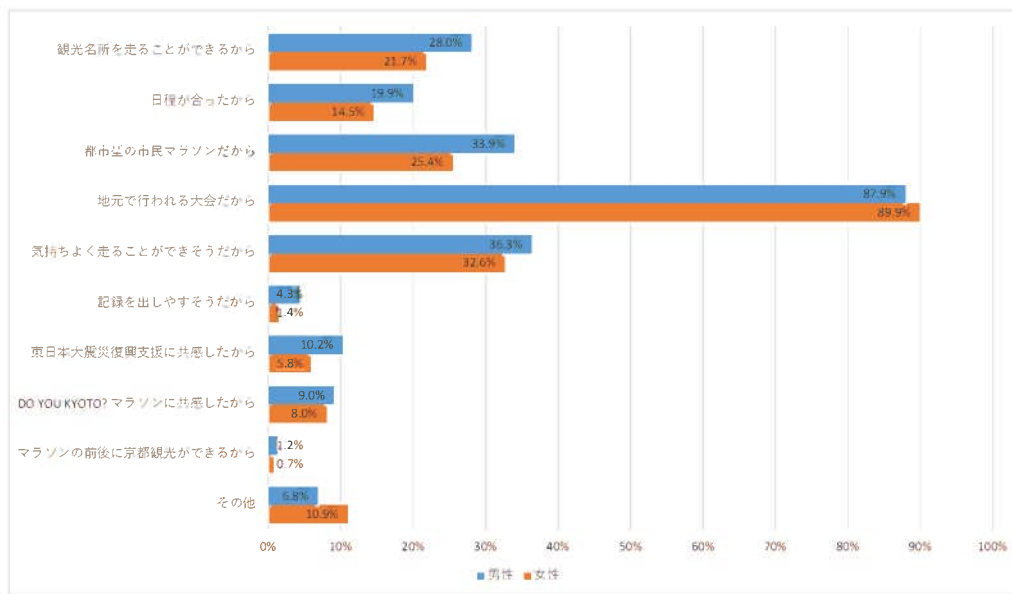


4-7-1) 性別による参加理由

図表31-1. 性別による参加理由 (京都市内)

N=2,902, n=2,675

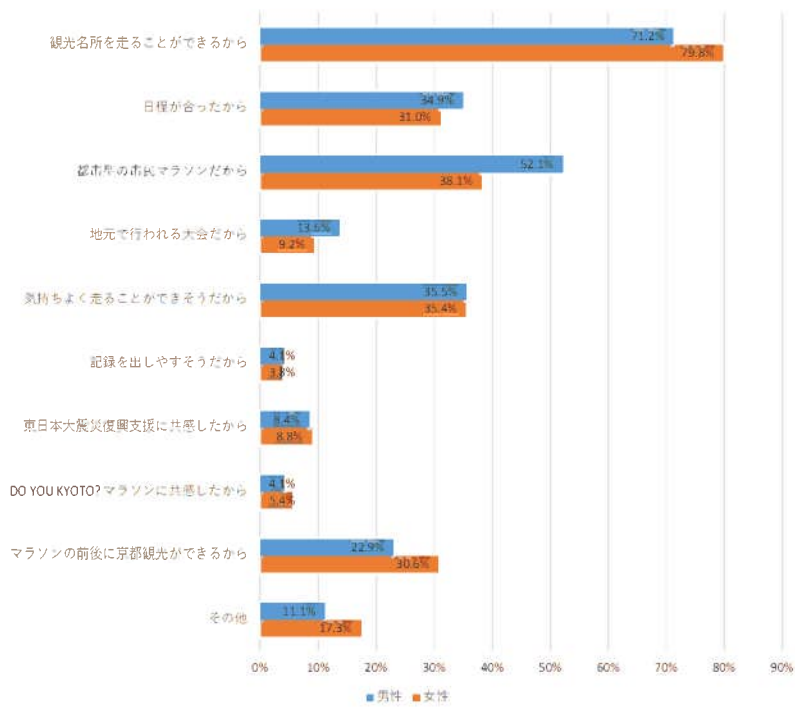
		観光名所を走ることができるから	日程が合ったから	都市型の市民マラソンだから	地元で行われる大会だから	気持ちよく走ることができそうだから	記録を出しやすそうだから	東日本大震災復興支援に共感したから	DO YOU KYOTO? マラソンに共感したから	マラソンの前後に京都観光ができるから	その他
男性 (322人)	度数	90	64	109	283	117	14	33	29	4	22
	パーセント	28.0%	19.9%	33.9%	87.9%	36.3%	4.3%	10.2%	9.0%	1.2%	6.8%
女性 (138人)	度数	30	20	35	124	45	2	8	11	1	15
	パーセント	21.7%	14.5%	25.4%	89.9%	32.6%	1.4%	5.8%	8.0%	0.7%	10.9%
全体 (460人)	度数	120	84	144	407	162	16	41	40	5	37
	パーセント	26.1%	18.3%	31.3%	88.5%	35.2%	3.5%	8.9%	8.7%	1.1%	8.0%



図表31-2. 性別による参加理由（京都市外）

N=2,902, n=2,675

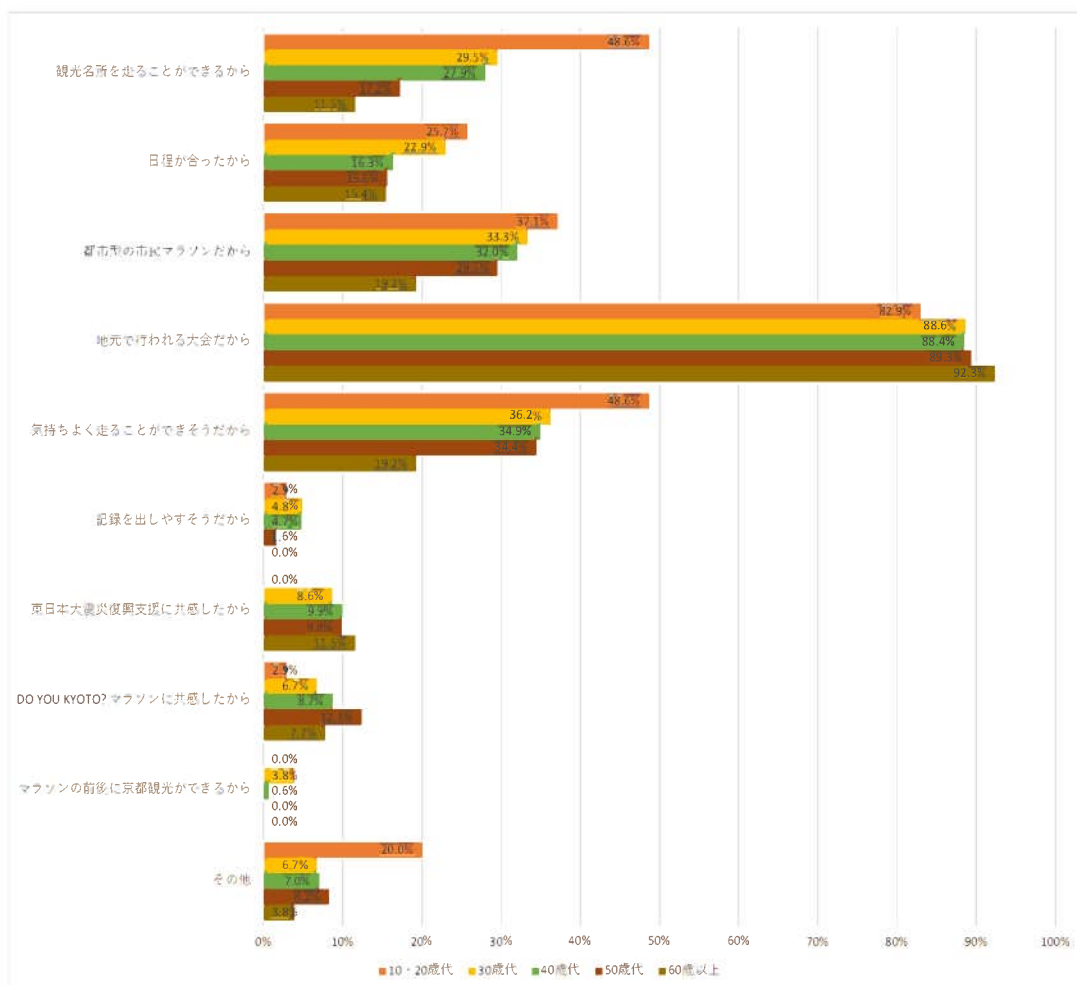
		観光名所を走ることができるから	日程が合ったから	都市型の市民マラソンだから	地元で行われる大会だから	気持ちよく走ることができそうだから	記録を出しやすそうだから	東日本大震災復興支援に共感したから	DO YOU KYOTO? マラソンに共感したから	マラソンの前後に京都観光ができるから	その他
男性 (1,695人)	度数	1,206	592	883	230	602	69	142	69	389	188
	パーセント	71.2%	34.9%	52.1%	13.6%	35.5%	4.1%	8.4%	4.1%	22.9%	11.1%
女性 (520人)	度数	415	161	198	48	184	20	46	28	159	90
	パーセント	79.8%	31.0%	38.1%	9.2%	35.4%	3.8%	8.8%	5.4%	30.6%	17.3%
全体 (2,215人)	度数	1,621	753	1,081	278	786	89	188	97	548	278
	パーセント	73.2%	34.0%	48.8%	12.6%	35.5%	4.0%	8.5%	4.4%	24.7%	12.6%



図表32-1. 年代別の参加理由（京都市内）

N=2,902, n=2,675

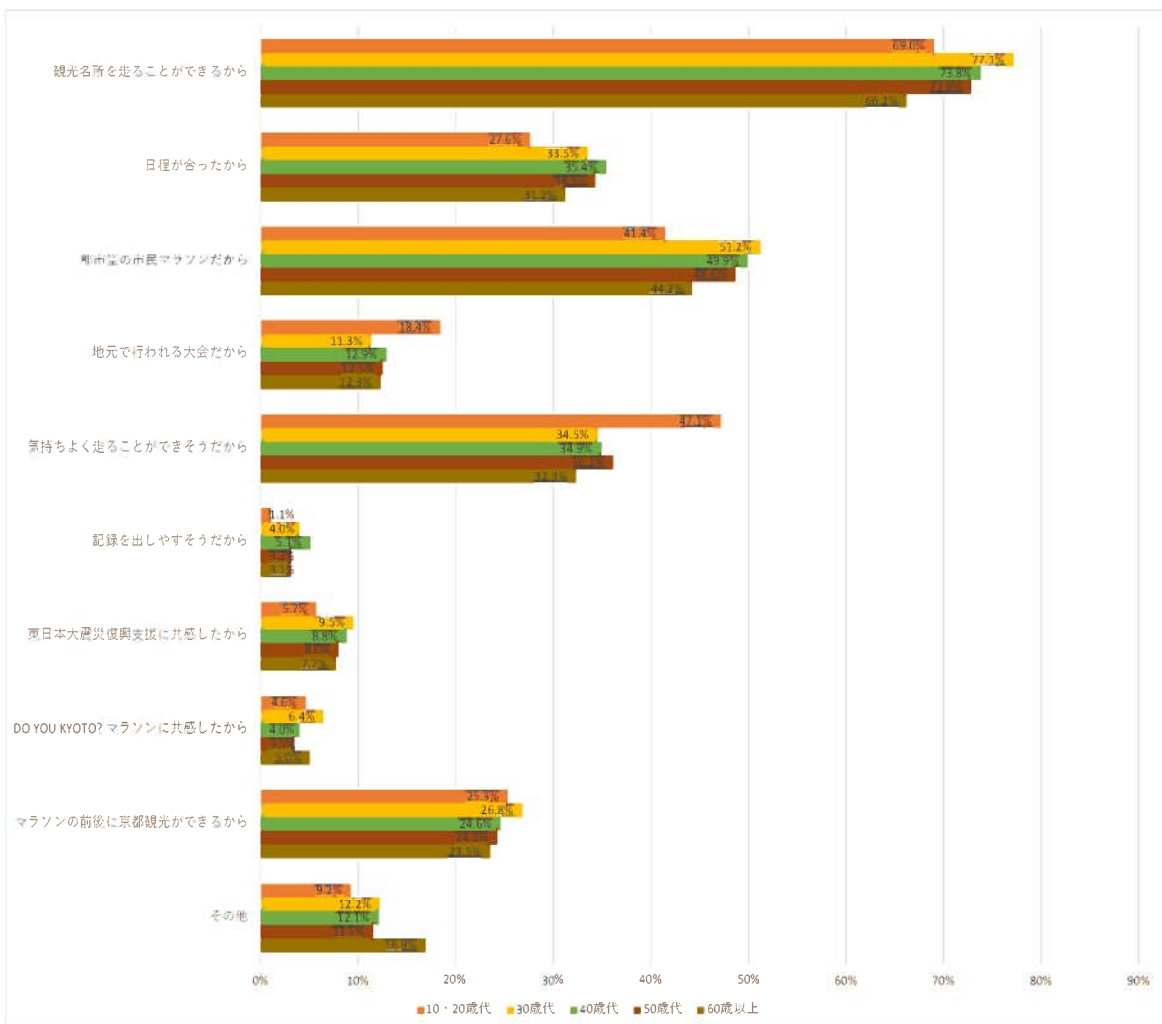
	観光名所を走ることができるから	日程が合ったから	都市型の市民マラソンだから	地元で行われる大会だから	気持ちよく走ることができるから	記録を出しやすそうだから	東日本大震災復興支援に共感したから	DO YOU KYOTO? マラソンに共感したから	マラソンの前後に京都観光ができるから	その他
10・20歳代 (35人)	度数: 17 パーセント: 48.6%	9 25.7%	13 37.1%	29 82.9%	17 48.6%	1 2.9%	0 0.0%	1 2.9%	0 0.0%	7 20.0%
30歳代 (105人)	31 29.5%	24 22.9%	35 33.3%	93 88.6%	38 36.2%	5 4.8%	9 8.6%	7 6.7%	4 3.8%	7 6.7%
40歳代 (172人)	48 27.9%	28 16.3%	55 32.0%	152 88.4%	60 34.9%	8 4.7%	17 9.9%	15 8.7%	1 0.6%	12 7.0%
50歳代 (122人)	21 17.2%	19 15.6%	36 29.5%	109 89.3%	42 34.4%	2 1.6%	12 9.8%	15 12.3%	0 0.0%	10 8.2%
60歳以上 (26人)	3 11.5%	4 15.4%	5 19.2%	24 92.3%	5 19.2%	0 0.0%	3 11.5%	2 7.7%	0 0.0%	1 3.8%
全体 (460人)	120 26.1%	84 18.3%	144 31.3%	407 88.5%	162 35.2%	16 3.5%	41 8.9%	40 8.7%	5 1.1%	37 8.0%



図表32-2. 年代別の参加理由（京都市外）

N=2,902, n=2,675

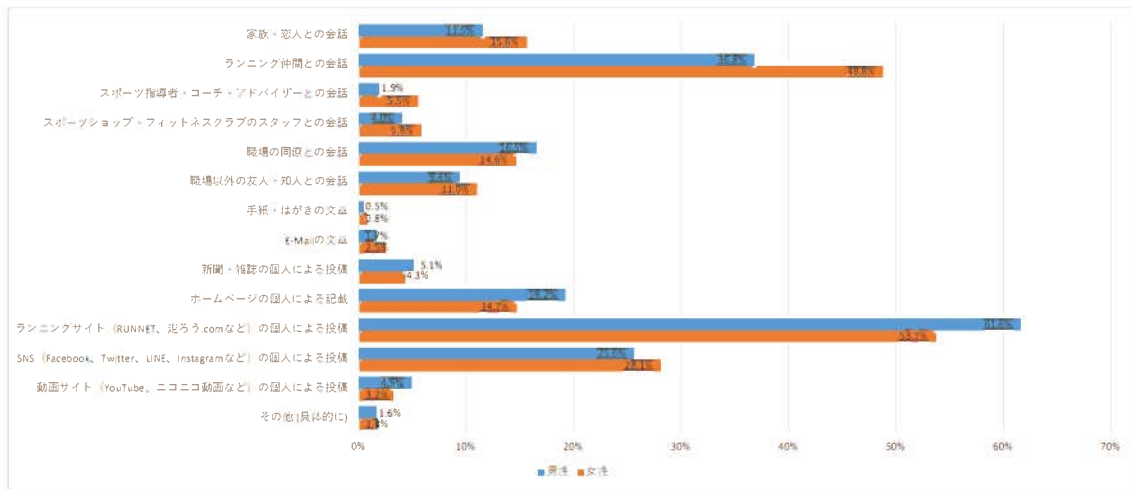
	観光名所を走ることができるから	日程が合ったから	都市型の市民マラソンだから	地元で行われる大会だから	気持ちよく走ることができそうだから	記録を出しやすいから	東日本大震災復興支援に共感したから	DO YOU KYOTO? マラソンに共感したから	マラソンの前後に京都観光ができるから	その他
10・20歳代 (87人)	度数: 60 パーセント: 69.0%	度数: 24 パーセント: 27.6%	度数: 36 パーセント: 41.4%	度数: 16 パーセント: 18.4%	度数: 41 パーセント: 47.1%	度数: 1 パーセント: 1.1%	度数: 5 パーセント: 5.7%	度数: 4 パーセント: 4.6%	度数: 22 パーセント: 25.3%	度数: 8 パーセント: 9.2%
30歳代 (328人)	度数: 253 パーセント: 77.1%	度数: 110 パーセント: 33.5%	度数: 168 パーセント: 51.2%	度数: 37 パーセント: 11.3%	度数: 113 パーセント: 34.5%	度数: 13 パーセント: 4.0%	度数: 31 パーセント: 9.5%	度数: 21 パーセント: 6.4%	度数: 88 パーセント: 26.8%	度数: 40 パーセント: 12.2%
40歳代 (817人)	度数: 603 パーセント: 73.8%	度数: 289 パーセント: 35.4%	度数: 408 パーセント: 49.9%	度数: 105 パーセント: 12.9%	度数: 285 パーセント: 34.9%	度数: 42 パーセント: 5.1%	度数: 72 パーセント: 8.8%	度数: 33 パーセント: 4.0%	度数: 201 パーセント: 24.6%	度数: 99 パーセント: 12.1%
50歳代 (773人)	度数: 563 パーセント: 72.8%	度数: 265 パーセント: 34.3%	度数: 376 パーセント: 48.6%	度数: 97 パーセント: 12.5%	度数: 279 パーセント: 36.1%	度数: 25 パーセント: 3.2%	度数: 62 パーセント: 8.0%	度数: 27 パーセント: 3.5%	度数: 187 パーセント: 24.2%	度数: 89 パーセント: 11.5%
60歳以上 (210人)	度数: 172 パーセント: 66.2%	度数: 81 パーセント: 31.2%	度数: 115 パーセント: 44.2%	度数: 32 パーセント: 12.3%	度数: 84 パーセント: 32.3%	度数: 8 パーセント: 3.1%	度数: 20 パーセント: 7.7%	度数: 13 パーセント: 5.0%	度数: 61 パーセント: 23.5%	度数: 44 パーセント: 16.9%
全体 (2,215人)	度数: 1,651 パーセント: 73.2%	度数: 769 パーセント: 34.0%	度数: 1,103 パーセント: 48.8%	度数: 287 パーセント: 12.6%	度数: 802 パーセント: 35.5%	度数: 89 パーセント: 4.0%	度数: 190 パーセント: 8.5%	度数: 98 パーセント: 4.4%	度数: 559 パーセント: 24.7%	度数: 280 パーセント: 12.6%



図表33 性別による口コミの情報入手ルート

N=2,902, n=2,616

		家族・恋人との会話	ランニング仲間との会話	スポーツ指導者・コーチ・アドバイザーとの会話	スポーツショップ・フィットネスクラブのスタッフとの会話	職場の同僚との会話	職場以外の友人・知人との会話	手紙・はがきの文章	E-Mailの文章	新聞・雑誌の個人による投稿	ホームページの個人による記載	ランニングサイト (RUNNET、走ろう.comなどの個人による投稿)	SNS (Facebook、Twitter、LINE、Instagramなどの個人による投稿)	動画サイト (YouTube、ニコニコ動画などの個人による投稿)	その他(具体的に)
男性 (1,964人)	度数	225	722	37	78	324	185	10	34	100	377	1,209	503	96	32
	パーセント	11.5%	36.8%	1.9%	4.0%	16.5%	9.4%	0.5%	1.7%	5.1%	19.2%	61.6%	25.6%	4.9%	1.6%
女性 (652人)	度数	102	318	36	38	95	72	5	16	28	96	350	183	21	12
	パーセント	15.6%	48.8%	5.5%	5.8%	14.6%	11.0%	0.8%	2.5%	4.3%	14.7%	53.7%	28.1%	3.2%	1.8%
合計 (2,616人)	度数	327	1,040	73	116	419	257	15	50	128	473	1,559	686	117	44
	パーセント	12.5%	39.8%	2.8%	4.4%	16.0%	9.8%	0.6%	1.9%	4.9%	18.1%	59.6%	26.2%	4.5%	1.7%

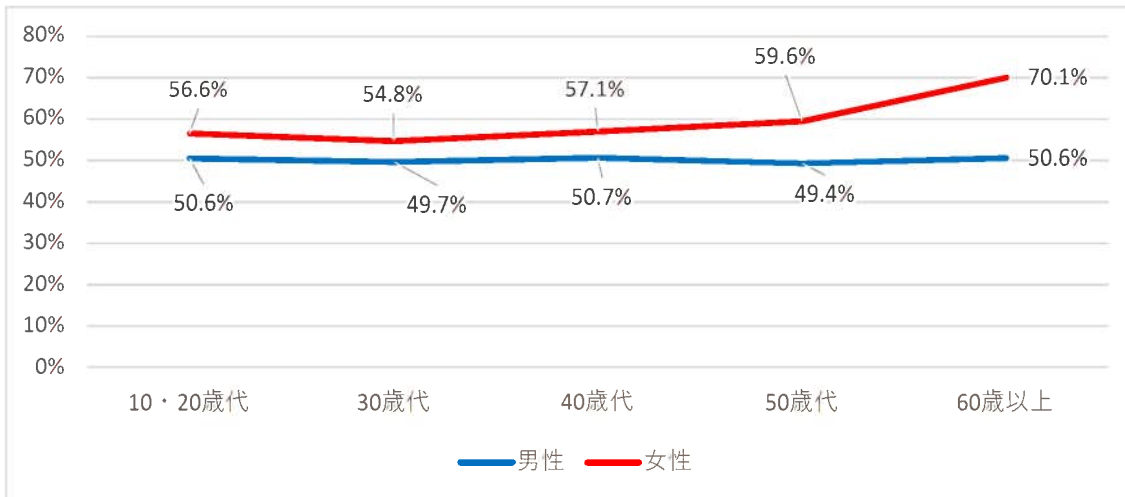


4-8-2) 口コミ情報の影響力の大きさ

図表34. 口コミ情報の影響力の大きさ

N=2,902、n=2,510

	10・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	全体
男性	50.6%	49.7%	50.7%	49.4%	50.6%	50.1%
女性	56.6%	54.8%	57.1%	59.6%	70.1%	58.2%
合計	53.0%	51.0%	52.4%	51.6%	54.0%	52.1%

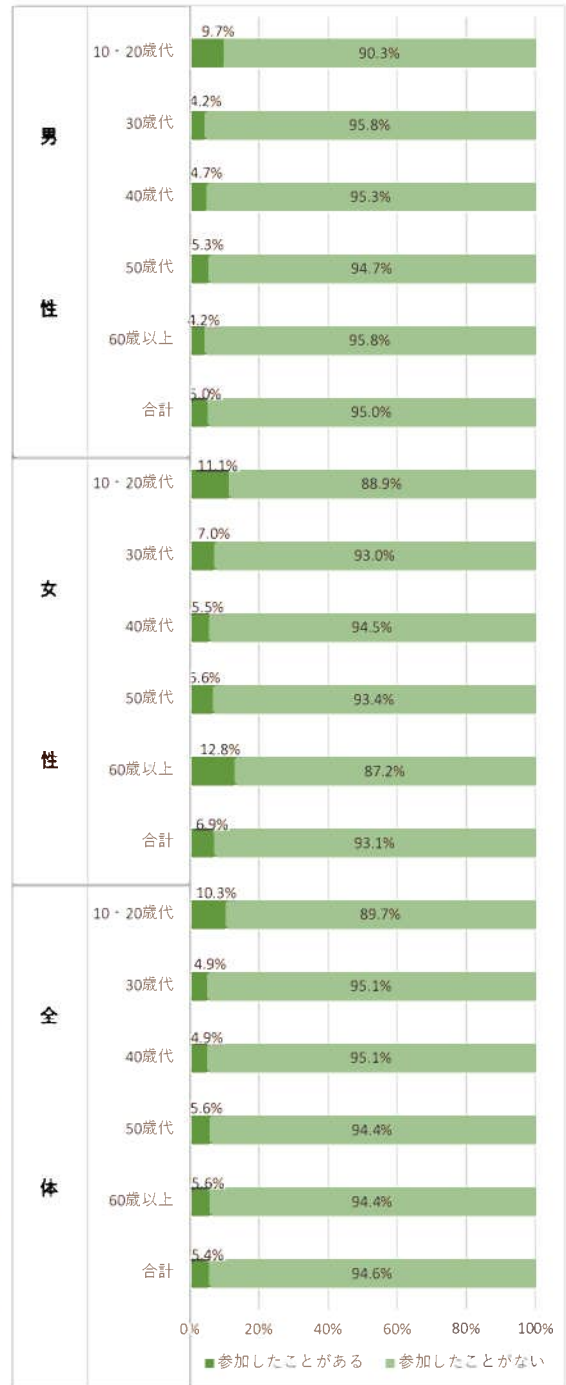


4-9) 過去京都マラソンのボランティア経験

図表35. 京都マラソンのボランティア経験

N=2,902、n=2,646

		参加したことがある		参加したことがない		合計	
男性	10・20歳代	度数	7	65	72		
		パーセント	9.7%	90.3%	100.0%		
	30歳代	度数	13	300	313		
		パーセント	4.2%	95.8%	100.0%		
	40歳代	度数	34	691	725		
		パーセント	4.7%	95.3%	100.0%		
	50歳代	度数	37	656	693		
		パーセント	5.3%	94.7%	100.0%		
	60歳以上	度数	8	184	192		
		パーセント	4.2%	95.8%	100.0%		
	合計		度数	99	1,896	1,995	
			パーセント	5.0%	95.0%	100.0%	
女性	10・20歳代	度数	5	40	45		
		パーセント	11.1%	88.9%	100.0%		
	30歳代	度数	8	106	114		
		パーセント	7.0%	93.0%	100.0%		
	40歳代	度数	14	241	255		
		パーセント	5.5%	94.5%	100.0%		
	50歳代	度数	13	185	198		
		パーセント	6.6%	93.4%	100.0%		
	60歳以上	度数	5	34	39		
		パーセント	12.8%	87.2%	100.0%		
	合計		度数	45	606	651	
			パーセント	6.9%	93.1%	100.0%	
全体	10・20歳代	度数	12	105	117		
		パーセント	10.3%	89.7%	100.0%		
	30歳代	度数	21	406	427		
		パーセント	4.9%	95.1%	100.0%		
	40歳代	度数	48	932	980		
		パーセント	4.9%	95.1%	100.0%		
	50歳代	度数	50	841	891		
		パーセント	5.6%	94.4%	100.0%		
	60歳以上	度数	13	218	231		
		パーセント	5.6%	94.4%	100.0%		
	合計		度数	144	2,502	2,646	
			パーセント	5.4%	94.6%	100.0%	



5. 京都のイメージ

京都マラソン2018に参加したランナーが大会開催地のイメージについて、「全くそう思わない」から「非常にそう思う」まで、7段階の質問項目を設定し、京都市内在住と京都市外在住別で分析した。ほとんどの項目において京都市外在住のランナーが京都市内在住のランナーよりも、高く評価する傾向にあることが分かった。

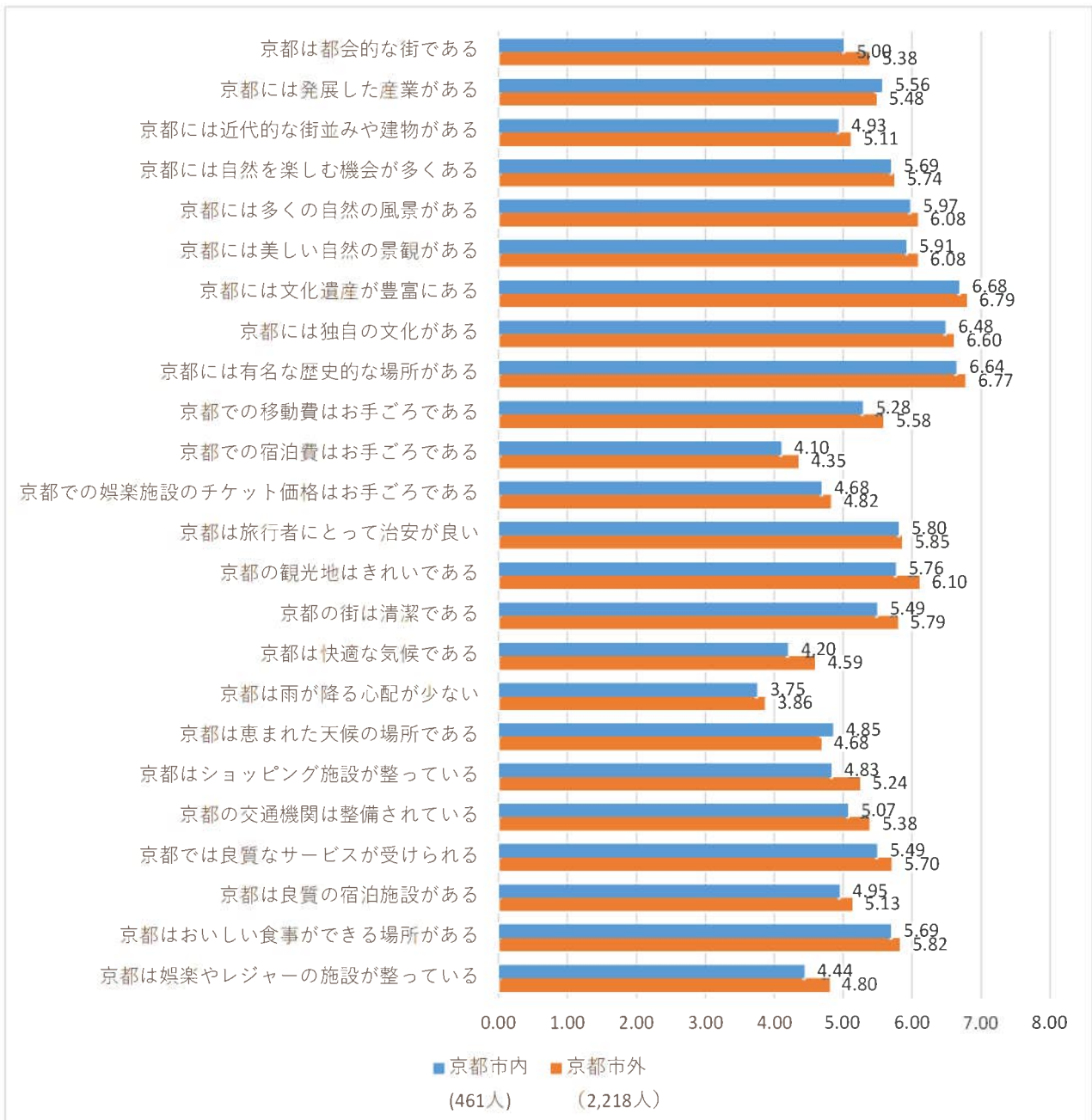
5-1) 京都のイメージ

図表36. 京都のイメージ

「全くそう思わない」=1～「非常にそう思う」=7

N=2,902、n=2,679

	平均値		
	京都市内 (461人)	京都市外 (2,218人)	全体
京都は都会的な街である	5.00	5.38	5.31
京都には発展した産業がある	5.56	5.48	5.50
京都には近代的な街並みや建物がある	4.93	5.11	5.08
京都には自然を楽しむ機会が多くある	5.69	5.74	5.73
京都には多くの自然の風景がある	5.97	6.08	6.06
京都には美しい自然の景観がある	5.91	6.08	6.05
京都には文化遺産が豊富にある	6.68	6.79	6.77
京都には独自の文化がある	6.48	6.60	6.58
京都には有名な歴史的な場所がある	6.64	6.77	6.74
京都での移動費はお手ごろである	5.28	5.58	5.53
京都での宿泊費はお手ごろである	4.10	4.35	4.31
京都での娯楽施設のチケット価格はお手ごろである	4.68	4.82	4.79
京都は旅行者にとって治安が良い	5.80	5.85	5.84
京都の観光地はきれいである	5.76	6.10	6.04
京都の街は清潔である	5.49	5.79	5.74
京都は快適な気候である	4.20	4.59	4.71
京都は雨が降る心配が少ない	3.75	3.86	4.52
京都は恵まれた天候の場所である	4.85	4.68	3.84
京都はショッピング施設が整っている	4.83	5.24	5.33
京都の交通機関は整備されている	5.07	5.38	5.17
京都では良質なサービスが受けられる	5.49	5.70	5.10
京都は良質の宿泊施設がある	4.95	5.13	5.67
京都はおいしい食事ができる場所がある	5.69	5.82	5.80
京都は娯楽やレジャーの施設が整っている	4.44	4.80	4.74



6. 自由記述意見について

京都マラソン 2018 ランナーアンケートについて、回答者の 51.1%に当たる 1,483 人から自由記述意見をいただきました。その中で、特徴的な意見を以下のとおり 19 のカテゴリーに分けて列記し、大会事務局から次回大会へ向けての説明を付記しました。

(1) 定員・エントリー

外国人枠が多すぎて、日本人が走られないのではないか？参加したい日本人ランナーがたくさんいるので、日本人が走られる京都マラソンにしていきたい。
東日本大震災復興支援をメインコンセプトとしている事がとても嬉しい。被災者枠で参加したが、ゴールした時は泣きたくなった。
サブ 3.5・4 応援枠、京都市民枠は今後も継続して下さい！！

【次回大会へ向けて】

京都マラソンは、海外から出走を希望されるランナーが多いのも大会の特徴です。7 回目の大会を迎えた今大会には約 2,000 名を超える海外ランナーが参加されました。今回いただきました意見を踏まえ海外ランナーと日本人ランナーのバランスについて、全体を見ながら考えてまいります。

メインコンセプトの一つとして東日本大震災復興支援を掲げ、東日本大震災復興支援枠を設けています。2019 大会でも引き続き東日本大震災復興支援枠を継続してまいります。

サブ 3.5・サブ 4 応援枠や京都市民枠についても大変ご好評をいただいております、引き続き、京都マラソンを出走したいランナーへ向けた幅広い応援枠として継続してまいります。

(2) ランナー受付

ランナー受付がもう少しスムーズに流れるよう検討してほしいです。
最近のマラソン大会に増えてきていますが、前日受付ではなく、あらかじめゼッケンの郵送を検討して頂けると受付の負担が減ると思います。

【次回大会へ向けて】

ランナー受付については、スムーズな運営を心掛けていますが、2019 大会でもストレスがない受付を目指して検討を重ねてまいります。

ナンバーカードの事前送付については、多くのご要望をいただいておりますが、京都マラソンでは、安心・安全な大会運営のためにはランナーの皆さんに本人確認をしたうえで直接お渡しすることが重要であると考えております。ナンバーカードを事前に送付した場合、直接本人確認ができないことから事前送付をしておりません。何卒ご理解ください。

(3) オフィシャルグッズ

京都マラソンのオフィシャルグッズはもっと京都らしさを取り入れてほしい。

オフィシャルグッズ（特にTシャツ）は毎年売り切れているのになぜもっと十分な量を作らないのか？基本金曜日に来なければ欲しいものは手に入らないという状況である。

【次回大会へ向けて】

オフィシャルグッズについて、ご意見を頂きまして有難うございます。2017大会から京都の老舗企業である「鳩居堂」や「SOU・SOU」とコラボレーションのうえ、京都らしいグッズの展開に力を入れてまいりました。引き続き、京都らしいグッズをご用意できるよう検討してまいります。

Tシャツが毎年売り切れている件につきましては、誠に申し訳ございません。多くの方に満足していただけるよう、十分な数量を提供できるよう努めてまいります。

(4) スタート会場

前日にスタート会場の下見をしたら、駅から案内がほとんど、ありませんでした。

スタート会場での屋内更衣室やトイレの数、簡易ポンチョの配布等、ランナー目線で大会運営されている姿勢に頭が下がります。

スタート会場のトイレが故障して大行列だったのが非常に残念でした。

【次回大会へ向けて】

阪急西京極駅からスタート会場である西京極総合運動公園までは公道であり事前に案内板を掲出しておりません。大会当日にスタッフが看板を掲げ案内を行います。

2018大会では、スタートに関連して主に2つの改善を加えました。まず1つ目が簡易ポンチョの配布です。これは、手荷物を預けてからスタートの号砲までが非常に寒いとお声を頂戴していたため、特に低体温症防止の目的で配布しました。2つ目は、屋内更衣室の開場を10分早めました。次回大会でも皆さまの利便性を検討し、引き続きランナー目線での改善に努めてまいります。

トイレについて、余裕をもった数の配置を心掛けておりますが、故障等により場所によっては混雑したところもあり申し訳ございませんでした。次回大会でも引き続き余裕をもった配置を心掛けるとともに、比較的空いているトイレを案内する等ランナーの皆さまの待機を少しでも解消できるよう検討してまいります。

(5) スタートセレモニー

寒い日は、スタートセレモニーをもう少し短くお願いします。

サブアリーナ集合の友人は、スタートセレモニーが声だけと言っていました。

【次回大会へ向けて】

2月の京都は底冷えが厳しくセレモニー中における寒さ対策として、2018大会から簡易ポンチョの配布を実施しておりまして、不要になった衣類などを着用しリサイクルできる取組と合せて是非ご活用ください。

補助競技場において、セレモニーの声だけが聞こえて盛り上がり欠けるとのお声も頂戴しております。大会事務局の中でも課題との認識を持っておりますが、会場規模の関係で抜本的な改善に至っておりません。2018大会ではせめて声だけでも明瞭にお届けできるようスピーカーの設置箇所や個数を見直しました。これからも、スタート会場の一体化について検討を重ねてまいります。

(6) 給水・給食

体の体温が低い状態での給水は、極力したくないのがランナーの心情じゃないでしょうか？白湯はダメでしょうか？みそ汁の提供はダメでしょうか

ゴミ箱が少なくて困りました！！ 飲み終わった空のジェルをずっと持って走りました。給水所に紙コップ専用以外のゴミ箱を増やしてほしいです。

給食のバナナ。賛否あるとおもいますが、皮を向いた状態のままトレイに入れてあるので後半のランナーになるとグチャグチャ感がして手を出しにくい状態だった。皮が捨てられるとランナーに危険が及ぶ為の対策とは思いますが皮をむいてストックする量をもっと少し考えてほしかったです。

昨年、紙コップのドリンク量が多過ぎて結構捨てたのですが、今回は適量でほとんど捨てずにすみませんでした。そのお蔭か、河川敷の地面の泥濘があまり気になりませんでした。

【次回大会へ向けて】

給水を温かい飲み物にしてはいかがでしょうかとのご意見をいただきまして有難うございます。2月開催の京都マラソンで温かい飲み物を提供したいという思いは事務局も持っておりますが、16,400名のランナー全員に温かい飲み物を提供することは、特に運営の観点から現時点ではとても難しいと判断しております。何卒ご理解ください。

京都マラソンでは、比較的多くのゴミ箱を用意しておりますが、ランナーの皆さまへゴミ箱の情報が的確に伝わっていないことも一因ではないかと考えております。このため、2019大会ではゴミ箱の案内方法などを工夫することにより走りやすくなるように改善してまいります。

給食におけるバナナの提供方法についてはご意見がございますように賛否両論あ

ります。皮を剥いてほしいランナーと皮を剥かずにおいてほしいランナーがおられますが、京都マラソンではランナーサービス及び安全面から皮を剥いた状態で提供しております。どちらの提供方法が良いのか、またストック量について、運営の観点に加えてランナーの皆さまの声に耳を傾けながら検討を重ねてまいります。

給水ドリンクの量が適切であったとのご意見についてありがとうございます。京都マラソンでは、スタッフ及びボランティアの研修を行っておりますが、ランナーの皆さまが望まれる給水量についても研修で説明させていただいております。引き続き、快適に給水していただけるよう努めてまいります。

(7) トイレ (コース沿道)

各地点ごとの個数と次のトイレまでの距離が分かるのはうれしいのですが、トイレに行くタイミングをどうするかを見計らうためにも次のトイレが何個あるのかを距離と一緒に記載してくれるとより快適に走れると感じました。

松尾橋手前の市バス待機所のトイレが使用出来なかったのが辛かった。

トイレについて 後半になるほど空いているところが多かった（逆を言えば、前半は混雑しておりロスタイムが大きい）ので、前半に多く設置してほしい。

【次回大会へ向けて】

トイレの案内表記について、貴重なご意見を有難うございます。案内看板に記載できる情報量にも限界がありますが、2019大会では、次のトイレの個数情報をお伝えできるように検討をしております。

松尾橋手前のトイレが使用できなかったことについては大変申し訳ございませんでした。2019大会ではこのようなことがないように徹底してまいります。

前半のトイレを増やしてほしいとのご要望について、実は京都マラソン2018大会ではこのようなご意見を踏まえて前半のトイレ数を増やしましたが、それでも混雑している現状があります。2019大会では、ランナーの皆さまにトイレの個数を的確にお伝えし、少しでも混雑が緩和できるような取組を検討してまいります。

(8) 時間制限関門・医療救護

今回、ファーストエイドサポーターのボランティアを兼ねて参加しました。コース上の25km付近で、男性の選手が倒れこまれていたので、「大丈夫ですか？」と声をかけました。倒れていた選手は、かなり疲れた様子で「大丈夫です。」と言われて、起き上がって走りだしたので、暫く併走して様子を見ていましたが、足取りがかなり重そうでしたが、「大丈夫・・・。」と言って走られていたので、私もレースに復帰しました。

AEDは、立ってても役に立ちません。今のマラソンでは、自転車で巡回されてます。

【次回大会へ向けて】

2018大会では、「ファーストエイドサポーター」を新設しました。今回いただきました事案のように、並走しながら他のランナーの様子をみていただき大変ありがとうございます。このように、コース上においてランナー同士が体調を確認し合う大会に成長してほしいとの思いがありますので、引き続き「ファーストエイドサポーター」としての活動にご理解とご協力をお願いします。

京都マラソンのAEDは124基を用意しており、各救護所のほか、ご意見にございますようにコース上にてAEDをもって待機している「待機救護サポーター」を配置しております。更に、他大会と同様に、京都マラソンでもAEDを持って自転車で巡回する「移動救護サポーター」を配置しております。

(9) ニックネームゼッケン・仮装

市民マラソンなのに仮装禁止を言うのは意味がない。

ナンバーカードにニックネームをつけるのはよかったです。たくさんお声をかけていただきました。素人ランナーでも応援されると力が出るもんですね。

【次回大会へ向けて】

仮装については、ランナーが密集している中で周囲のランナーに危険が生じる可能性もあるため禁止しています。仮装をしながら走ることで盛り上がる一面があることは事務局でも理解していますが、京都マラソンではランナーの皆さまの安全面を優先し、このような方針としております。何卒ご理解ください。

ニックネームゼッケンについては、頑張るランナーの皆さまが沿道から声援を受けることが出来るため大変好評です。次回大会でも是非ご利用いただき、沿道で応援される方々からの声援をパワーに変えてフィニッシュを目指してください。

(10) コースについて

コースはとても走りやすかった(河川敷を含めて)のですが、折り返しの多さが堪えませんでした。

河川敷はコース幅が狭すぎます。接触や歩幅をせまくして走らざるをえないため、ストレスがたまりました。

【次回大会へ向けて】

京都は、都市の構造上道路の立体交差が少ないことが折返しが多い要因の一つとなっていることをご理解いただき、京都の街並みを楽しんでいただきたいと考えています。

河川敷におけるコース幅は一部狭いエリアがあります。ランナー同士の接触を避けるため歩くランナーは右側へ誘導する等の各種対策を講じております。引き続き、ランナーの皆さまの安心・安全を確保できるように対策を検討してまいります。

(1 1) フィニッシュ会場

フィニッシュの後の給食をもう少し増やして欲しいです。

フィニッシュ後応援してくれた人との待ち合わせ場所に苦労した。もっと分かりやすく行き来しやすい場所の設定を望む。

【次回大会へ向けて】

フィニッシュ後の給食については、毎年改善を重ねてまいりました。2019 大会でもランナーの皆さまが満足してもらえるような給食を提供できるように準備してまいります。

フィニッシュ後の応援者との待ち合わせについて、ご不便をおかけし誠に申し訳ございません。フィニッシュ会場の大幅なレイアウト変更が困難であるため、ランナーや応援者の皆さまに、これまで以上に分かりやすい会場案内ができるよう検討のうえ、改善に努めてまいります。

(1 2) おこしやす広場・おつかれさま広場

コースも充実してましたが、おこしやす広場・おつかれさま広場の食事・マラソングッズ売り場・マッサージ・足湯・その他イベント等かなり充実してました。

おつかれさま広場初めて利用しました。お味噌汁と、マッサージは列が長くて断念しましたが、足湯は堪能しました。水圧がふくらはぎや足裏に当てられて、疲れた足に気持ちよかったです。

【次回大会へ向けて】

おこしやす広場は京都マラソンへお越しくくださったランナーの皆さまを温かくお迎えし、気持ちよく出走していただけるよう様々な工夫を施しています。一方、おつかれさま広場は、京都マラソンを出走された全てのランナーの疲れを癒すべくマッサージや足湯などのサービスを提供しております。会場の関係上、全ての方にストレスなくご利用いただけていないことは承知しておりますが、少しでもランナーの皆さまに満足していただけるように工夫してまいります。

(1 3) 参加賞・メダル・完走証

参加賞のバフは最高にセンスが良いと思い毎回楽しみにしています。T シャツだとなかなか着ませんがバフはフル活用させてもらっています。

完走メダルは、高級感・京都らしさもあり、気に入っています。

【次回大会へ向けて】

参加賞については、Buff(バフ)が欲しい方やTシャツが欲しい方などから様々なご意見をいただいております。大会事務局としましては、2月開催であることから防寒対策としても利用できるバフを採用しております。ぜひ日頃の練習に京都マラソンのBuff(バフ)をご活用いただければ幸いです。

完走メダルについては、2018大会からInstagramを利用して、好きなデザインに投票できる取組を始めました。大会事務局としても、完走メダルを楽しみにしていただいているランナーの皆さまにとって完走の記念になる素敵なメダルを提供したいと考えておりますので、今後も京都マラソンらしい完走メダルを提供できるよう努めてまいります。2019大会の完走メダルについてもぜひ楽しみにしてください。

(14) 宿泊

ランナー向け幹旋ホテルの宿泊代がずいぶん高い(17,000円)など思いましたが、駅前だったので荷物預かりをしていただいたり、朝食の時間を早めて下さったりといろいろ気を遣っていただいたので価値があったなと思っています。

【次回大会へ向けて】

京都マラソンでは、宿泊案内を行っているホテル等に対して、ランナーの皆さまのために朝食時間を早めるなどのサービスを要請しており、これに応えていただいているホテルも多数ございます。2019大会についても可能な限りランナーの皆さまのニーズに合ったホテル等を案内できるよう取り組んでおりますので、是非京都マラソンの宿泊案内サイトからそれぞれのニーズにあったホテルをご利用ください。

(15) 沿道盛り上げ隊・沿道応援

コースはアップダウンがあって難コースではありますが、沿道盛り上げ隊の各大学応援団部員のお腹の底にまで届くエールには感動を覚えました。

応援盛り上げポイントでの応援団は、一般応援者の影（後ろになっている）でランナーからは見えにくくなっている為、ランナーとの交流が出来なかった。

【次回大会へ向けて】

「大学のまち京都」と呼ばれるだけあって京都マラソンのコース沿道には様々な大学があります。その大学からランナーの皆さまへエールを送ることも沿道盛り上げ隊として実施しており、多くの方から有り難いお言葉を頂戴しております。

沿道盛り上げ隊が一般応援者の後ろで影になっているとのご指摘について、盛り上げ隊の前にあるスペースは一般客が立ち止まらない様をお願いしております。しかし、多くの応援者が行き交う一部の時間帯ではご指摘のような事象が発生していたかもしれません。ランナーの皆さまへの応援が絶えることのないように沿道盛り上げ隊の運営での課題として改善していきたいと思っております。

(16) 海外ランナー

自撮り棒によるビデオカメラ・スマホ撮影を禁止してください。特に外国人に多く見られました。道の中央で立ち止まり平然と撮影する人がちらほらいました。とても危険です。

【次回大会へ向けて】

京都マラソンでは参加のご案内にも記載しておりますとおり自撮り棒による撮影等を禁止しております。海外から来られたランナーにこのようなマナー違反のランナーが多いとのご指摘を踏まえ、2019大会では海外から来られるランナーの方々へのマナー啓発に力を入れてまいります。

(17) ボランティア

ボランティアの方々の対応が素晴らしかったです。シャトルバスが発車するとき、手を振ってくれて涙が出そうになりました。

多くのボランティアに感謝したい。いたるところで支えられていることを感じ、ありがたかった。

【次回大会へ向けて】

京都マラソンを支えていただいているボランティアの方々への感謝の気持ちを多くのランナーの皆さまからいただいております。これは、事務局も同様に大変有難く感じており、引き続き、「走る人、支える人、応援する人、みんなが主役」の大会としてボランティアの方とともに運営を充実してまいります。

(18) ペア駅伝

ペア駅伝の部は表彰がなく、残念でした。表彰がなくても、順位等がわかるものがあると良かったです。

ペア駅伝の1区走者がおつかれさま会場のサービスを受けられるような案内などもあれば嬉しいです。(2区走者は更衣後に利用できますが、1区走者が個人で移動しておつかれさま会場を利用する方法が分からず、利用できなかったことが残念でした。)

【次回大会へ向けて】

ペア駅伝は、フルマラソンとは異なりファンランの位置付けとして楽しんでいただくことを目的としております。このため、順位を付けておらず、表彰も行っておりません。何卒ご理解ください。

ペア駅伝の1区走者がおつかれさま広場を利用できるように案内をしてほしいとのご意見について、第1区走者もナンバーカードを提示して入場していただいています。今回いただきましたご指摘を踏まえまして、おつかれさま広場の利用方法もご案内できるように改善してまいります。

(19) 大会運営全般

東京マラソンに3回出たことがあります。コース・運営・応援・もてなしなど全てにハイレベルで、さすが世界6大マラソン大会だと思っています。失礼ながら、

京都マラソンはだいぶ劣ると思っていましたが、今回初めて参加して、その洗練度は東京マラソンに勝るとも劣らないという印象を持ちました。関係の方々の熱意と努力の賜物だと思います。最大の敬意を表します。

全国高校駅伝のように今後も歴史ある大会になり、参加することが市民ランナーのステイタスになるような成長をとげることを期待するばかりです。京都の街らしく古きを残しつつも新しいこともドンドン取り入れて挑戦し続けて下さい。

貴大会は、復興支援や環境をテーマにして取り組んでいる面が素晴らしい。今回の驚きは、給水所前にて散乱する紙コップを、竹のほうきにてかき集めている光景でした。視覚障がい者のランナーが参加している為、紙コップの散乱は、危険が伴いますが、貴大会では、十分配慮されていて感激しました。スタート前の衣類回収やマイカップなども、貴大会の素晴らしい点です。これからも全国のマラソン大会の先駆者として、お手本になる運営を楽しみにしています。

【次回大会へ向けて】

京都マラソンへの様々なご意見をいただきまして誠に有難うございます。事務局は、毎大会終了後に課題を抽出し次回大会へ繋げるべくランナーアンケート等を通じまして皆さまからご意見を頂戴しております。

皆さまからいただきましたご意見を踏まえつつ、引き続きランナーの皆さまから愛される大会となるよう運営の改善に努めるとともに、より多くの方に満足いただけるように邁進してまいります。

今後とも、忌憚のないご意見・ご要望やご感想をお寄せください。

京都マラソン 2018 マネジメント・リサーチ・チーム

同志社大学スポーツ健康科学部 教授 二宮浩彰

龍谷大学経営学部 教授 松永敬子

立命館大学スポーツ健康科学部 教授 長積 仁

データ分析チーム

同志社大学スポーツ健康科学部スポーツ・マーケティング研究室

マラソン調査研究チーム

研究代表 二宮浩彰

<二宮研究室大学院生・学部生>

胡威 徐嘉楓 大野月見 竹田香菜